



ANNUAL REPORT 2018

2.7 Million People's Excitement Changes
the World. Move Osaka to the Next Stage.

Junior Chamber International Osaka



Junior Chamber International Osaka
一般社団法人 大阪青年会議所

ANNUAL REPORT 2018

2.7 Million People's Excitement Changes the World. Move Osaka to the Next Stage.

Junior Chamber International Osaka



2017年6月、2025年日本万国博覧会誘致ロゴに選んで頂きました。コンセプトは、子どもや世界各国の方々にも伝わる表現として、世界に普及したコミュニケーションツールである日本発祥の「絵文字」をモチーフに制作を致しました。「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに添い、その未来を担う子ども達にもわかりやすく、親しんでもらえるようにという思いを込めています。1年半が経ち、大阪での開催が決定した今、少しでも力になれたことを大変嬉しく思っております。

そして、この誘致ロゴのご縁から、大阪青年会議所の2018年度スローガンロゴの制作に携わり、突き抜ける上昇感を矢印で表現させて頂きました。この中心に置いた矢印のように、2020年東京オリンピック、2025年万国博覧会と世界的なイベントに向けて、大阪青年会議所のメンバーの皆様が中心となり、成功へ向かって上昇していくことを期待しております。



大川 幸秀 氏

アートディレクター・デザイナー
有限会社 Graphic Machine Explosion
「BREAK THROUGH OSAKA」
ロゴデザイン制作



CONTENTS

02	青年会議所とは	30	未来投資室
04	理事長所信	32	未来投資拡大委員会
06	2018年度 組織図	33	教育再生実行委員会
08	パートナーからのメッセージ	34	世界変革室
10	理事長挨拶	36	未来志向発信委員会
11	直前理事長挨拶	37	相互理解確立委員会
12	役員挨拶	38	涉外連携室
14	2025年日本万国博覧会誘致への取り組み	40	国内連携推進委員会
16	BREAK THROUGH OSAKA 2018EXPO	41	民間外交推進委員会
18	シスターJCの締結	42	総務広報室
20	2018年度1年間の事業活動	44	共感デザイン委員会
22	会員増強室	45	総務財政特別委員会
24	会員開発特別委員会	46	BREAK THROUGH FORUM (公開月例会)・月例会
25	会員資質向上委員会	47	2018年度褒賞
26	政治経済室	48	広報誌「SENCIA」発行報告
28	経済成長戦略委員会	49	広報制作物媒体
29	市民輿論確立委員会	50	メディア掲載情報

青年会議所とは

ABOUT JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、责任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所(商工会議所法制定にともない青年会議所と改名)設立から、日本の青年会議所(JC)運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもと、1950年には大阪青年会議所が国内で2番目に創設され、日本JCという国家青年会議所を設立するための重要なメンバーとして関わってきました。また各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所(日本JC)が設けられました。

現在、全国に青年会議所があり、三つの信条(トレーニング「個人の修練」、サービス「社会への奉仕」、フレンドシップ「世界を結ぶ友情」)のもと、よりよい社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。さらには、国際青年会議所(JCI)のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台として、さまざまな活動を展開しています。

大阪青年会議所の特性

CHARACTERISTICS OF JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OSAKA

青年会議所には品格のある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、大阪青年会議所では25歳から40歳までという年齢制限を設けています。(但し入会資格は満25歳から37歳まで)これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。

各青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は1年に限られています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動に展開しています。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。たとえば国会議員をはじめ、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

JC宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

大阪青年会議所の歴史

THE HISTORY OF JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL



整肢学院児童招待ドライブ



淀川マラソン

1957 「整肢学院児童招待ドライブ」を開始

1962 「JCI アジアコンファレンス」を大阪にて開催

1970 万国博野外劇場施設及び参加催物の提供

1974 「淀川マラソン」を実施

1974 淀川改修100年を記念して「淀川100野外祭」を開催

1980 「JCI 世界会議大阪大会」を開催

1980-89 「国際シンポジウム」を開催

1981 「わんぱく相撲」を実施

1982 「わんぱく相撲」

1986 「Save The Children Japan(SCJ)」設立(大阪JCが中心となって設立)

1992 「地球市民大阪ひろば(市民参加型集約事業)」を実施

1995 阪神淡路大震災における組織的支援活動

国連広報局よりNGOとして承認

1996 「大阪NPOセンター」設立(大阪JCが中心となって設立)

「大阪モデル国連会議(OMUN)」開催

1997 「ふれ愛ピック大阪後夜祭」を実施

第33回全国身障者スポーツ大会の後夜祭を運営。

多くの市民の皆さんと感動を共有

2000 大阪JC 創立50周年記念植樹「大阪JC 実りの森」を実施

「日本JC 第50回全国会員大会大阪大会」開催

2002 「豊かな地球創造ミッション」を実施

2003 次世代教育推進事業「根っ子学校」設立提言

2004 「淀川どろんこ探検隊」実施

絵本『くものコレース』出版

2005 「大阪市長選公開討論会」実施

『もうあさまへん浪速独立宣言』出版

2006 「アメリカ村落書き消し事業」実施

2007 社会人講師を学校に派遣した

「フレ愛応援団事業」実施

2008 インド・ニューデリーのJCI 世界会議にて、「2010年度JCI 世界会議」が大阪に決定

2010 「大阪JC 創立60周年記念式典・祝賀会」開催

「第65回JCI 世界会議」を大阪にて実施

2011 「大阪JC 創立60周年記念式典・祝賀会」開催

「第65回JCI 世界会議」を大阪にて実施

2012 「第67回JCI 世界会議 台北大会」でプロンポンJC とシスターJC 締結

2013 淀川「花は咲く」プロジェクト実施

2014 一般社団法人へ法人格を移行

2015 「大阪JC 創立65周年記念式典」開催

2016 マチミラOSAKA2017の開催

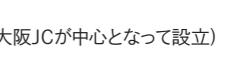
2017 18歳選挙権解禁に伴うULTRA VOTE PROJECTの開催

2018 大阪市への公開提言の実施

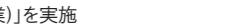
万国博覧会の開催決定



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



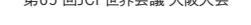
わんぱく相撲



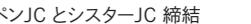
わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲



わんぱく相撲

BREAK THROUGH OSAKA

～ 270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ～

一般社団法人 大阪青年会議所
第68代理事長

竹田 哲之助



人生には一番大事な日が二つある
生まれた日となぜ生まれたのか分かった日

この地球、この時代に生まれたことには必ず意味がある

何のために生きるのかという使命と
どう生きるのかという確固たる哲学をもって

青年らしく素直な心で自分の人生に熱狂しよう

はじめに

この地球に誕生して以来、人間は進化を繰り返し、万物の王者として生成発展を続け人類を繁栄させてきた。しかし、行き過ぎたグローバリズムは利己主義な生成発展を世界中に広げ、解決の見えない経済格差や環境問題を生み出し、もはや限界を迎えるとしている。誰もが豊かさを享受できる経済、生涯を通して活躍できる社会、幸福を追求できる世界の実現には、個と公、競争と共生、歴史と革新など、一見矛盾する二つを調和させた生成発展による繁栄が必要なのである。

何事にもとらわれず、すべてを受け入れ、為すべきをなす。人類に進歩と調和をもたらす素直な心の存在に気づいた時、人は自分の生まれた意味を知る。熱狂とは、生命の炎を燃やし、直向きに生きる人の姿。あなたが使命に気づいたならば、青年らしく自分の人生に熱狂してみようではないか。たった一人の熱狂からすべてがはじまる。

「BREAK THROUGH OSAKA」と
呼ばれる次のステージへ

いま、大阪が再び熱狂しようとしている。2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、教育再生、経済再生を中心とする「未来投資戦略」の成果によって、日本再生に一筋の光が見えている。大阪においても、インバウンドの増加、国家戦略特区の活用、幼児教育の無償化などにより、経済は成長し、人口も増加傾向にあり、子どもの学力も伸びている。2019年にはラグビーワールドカップの開催、2025年の日本万国博覧会の開催誘致が実現すれば、大阪の未来は明るく照らされることになる。

かつて、人口、面積、経済において国内最大の都市となり「大阪」と呼ばれ、日本だけでなく世界を熱狂させた大阪。私たちは、大阪に住み暮らす270万人を熱狂させ、民間主導の経済成長で日本再生を牽引するアジアの中核都市となり、誰もが生きる力をもって生涯を通じて活躍し、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす「BREAK THROUGH OSAKA」を実現し、日本と世界を再び熱狂させる。

民間主導の「経済成長」を実現する市民輿論の確立

経済とは「世を経め、民を濟う」という「経世濟民」という言葉に由来します。行政は「経済」を企業は「経営」をおこない、需要の拡大と生産性の向上を繰り返すことで「経済成長」が実現します。財政健全化という目標を行政が掲げ「経営」をおこなっていることが、デフレーションから完全に脱却できない原因なのです。また、いまだ続く人口と経済の一極集中は地方都市を衰退させるだけでなく、自然災害大国日本にとって防災安全保障においても由々しき問題です。東西二極の一極として、東京に次ぐ経済規模を有する大阪の役割は重要です。日本再生を牽引する都市のビジョンを描き、民間主導で正しい政治と経済の知識にとづく政策を立案、提言すると共に実行し、アジアの中核都市として世界における存在感を確立しなければなりません。

そのためには、政治と経済の正しい知識にもとづいた市民輿論を確立し、「経済」を実現する官民一体の成長戦略を策定し、提言する必要があります。日本万国博覧会の誘致活動や、実施が予想される大阪府と市の合併の是非を問う住民投票は、市民の意識と知識を向上させ正しい輿論を形成する好機になります。また、企業がどのような「経営」をおこなうかも大切です。目先の利益を追求する株主資本主義ではなく、社会全体で豊かさを享受できる公益資本主義という新たな考え方を拡げていきます。未来に向けて企業が人や技術に積極的に投資することで、国民経済が循環し「経済成長」が実現するのです。行政だけに頼るのでなく、社会の公器として素直な心をベースに「経営」を実践し、地域の未来を牽引する企業を増やしていきます。

経済成長の実現こそ、私たち青年経済人の本領発揮の場です。正しい政治と経済にもとづいた市民輿論を確立し、行政が「経済」を企業が「経営」を通じて国民経済を循環させ、日本再生を民間主導の経済成長で牽引し、アジアの中核都市として存在感を発信する「BREAK THROUGH OSAKA」を実現します。

未来への投資が生み出す「生涯活躍社会」の実現

人工知能やロボットの発達により、近い将来に約50%の人びとが仕事を失い、今の子どもが大人になったときには、65%の人が今は存在しない仕事につくと言われれば、多くの子どもや若者が将来に不安を感じるのに頷くことができます。しかし、人手不足と産業革命が高度経済成長を実現したことを考慮すると、生産年齢人口の減少と新産業革命を迎えて

いる今こそ、未来を生きる子どもに期待感をもたらす好機なのです。家庭や学校、親や教師という枠をこえて、すべての大人が手本となり、逞しい身体と、素直な心を兼ね備えた、生きる力をもった子どもを育む環境が必要です。東京オリンピック・パラリンピックを契機に、性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、誰もが生涯を通して成長を続け活躍できる社会を実現する、未来への投資を拡大しなければなりません。

社会保障費が国家予算の中で約30%を占める現在、生涯において健康を保ち、医療費などを軽減できれば、未来への投資に繋がります。大阪は医療特区であり、2025年の万国博覧会のテーマは健康・長寿への挑戦を掲げています。生涯成長する基盤となる逞しい身体を、大人と子どもが共に育める環境を構築していきます。また、子どもへの教育も見直す必要があります。偏差値教育などにより常に誰かと比較されることで、自分に自信がもてず素直な心を育むことができないのです。一人ひとりの存在をしっかりと認め、自己肯定感を育むことが何より大切です。2018年からは特別の教科として道徳が小学校で実施されます。正しい教育の在り方を提言すると共に、家庭や学校という枠をこえて子どもの生きる力を育む教育再生を実現していきます。

私たちは、未来を生きる子どもに圧倒的な期待感を与えなければなりません。すべての大人が成長を続け活躍することは、子どもの生きる力を育む未来への投資に繋がります。逞しい身体と素直な心で生涯を通して成長を続け、誰もがいつまでも活躍することができる「BREAK THROUGH OSAKA」を実現します。

人類に真の進歩と調和をもたらす
「突き抜けた人材」の育成

1970年の万国博覧会のテーマは「人類の進歩と調和」。約50年前に問われたのは技術革新の先にある、人の在り方でした。移動手段やITの発達は、世界を小さくすると共に物質的な豊かさをもたらしましたが、行き過ぎたグローバリズムが世界中に経済格差を生み出し、精神的な豊かさをもたらすことはできていません。政府の掲げるSociety5.0では、今まで以上に人の在り方が問われることになります。すべての人びとが物質的にも精神的にも幸福を追求できる世界の実現には、何事にもとらわれず、すべてを受け入れる日本人の心を世界に拡げ、次なる革新を生み出す必要があります。リアルとバーチャルで世界と繋がり、未来を明るく照らし世界を変革する「突き抜けた人材」を、大阪から創出していきます。

次なる革新はゼロからイチではなく、既知と既知の組み合わせから生まれます。まずは、日本や大阪の歴史や培ってきた文化、技術の進歩について学ぶことで、生まれた国や地域への誇りと、日本人が元来持ち合

わせている素直な心に気づく必要があります。また、JCIのネットワークを活かして、歴史や文化、最先端の技術から生まれる様々な価値観を知るだけではなく、体験を通じて世界から見た日本や大阪について学び、知識を経験に変える必要があります。世界に圧倒的な期待感をもたらしている未来志向な人材や、次代と共に創造していく人びと相互理解を深め、様々な価値観を受け入れることで、歴史と技術、知識と経験が融合し、人類を進歩させ世界に調和をもたらす、次なる革新が生まれるのです。

世界に変革を起こすのは、たった一人が生み出す革新です。私たちは、誰もが幸福を追求できる世界の実現をめざし、日本人の素直な心で様々な価値観を受け入れ、既知と既知の融合から次なる革新を生み出す「突き抜けた人材」を創出し、人類に真の進歩と調和をもたらす「BREAK THROUGH OSAKA」を実現します。

青年らしく熱狂しよう 未来のために

未完成な青年だからこそ、まちづくりと自分づくりの両立を許されるのが青年会議所です。誰もが人生に熱狂する未来予想図を共有し、社会の評価や時流を気にすることなく、誰にも負けない努力を続け、侃々諤々の議論を繰り返し、互いを磨き続ける中から生まれる、青年らしい政策と大胆な行動によって新たな時流を生み出そう。友好JCやシスターJC、行政や企業、有識者や各種団体と連携し、JCと人びとを繋ぐ手段を戦略的に活用し、まちに共感を拡げていこう。1950年の設立以来、先輩諸氏が受け継いできた志を受け止め、1000名の仲間と正面から向き合い、誰一人手を離すことなく、一切妥協のない挑戦と失敗を繰り返し、270万人を熱狂させよう。

自らの幸せを願う人間でなければ、他者を幸せにすることはできない。すべては自分から、そして一人から。日本、世界においても、まずは大阪から。人の心を動かすもの、それは生命の炎を燃やし、直向きに生きる人の姿。

たった一人の熱狂からすべてがはじまる
一人の熱狂が人びとを巻き込みまちを変える
まちの熱狂が日本、そして世界を変える

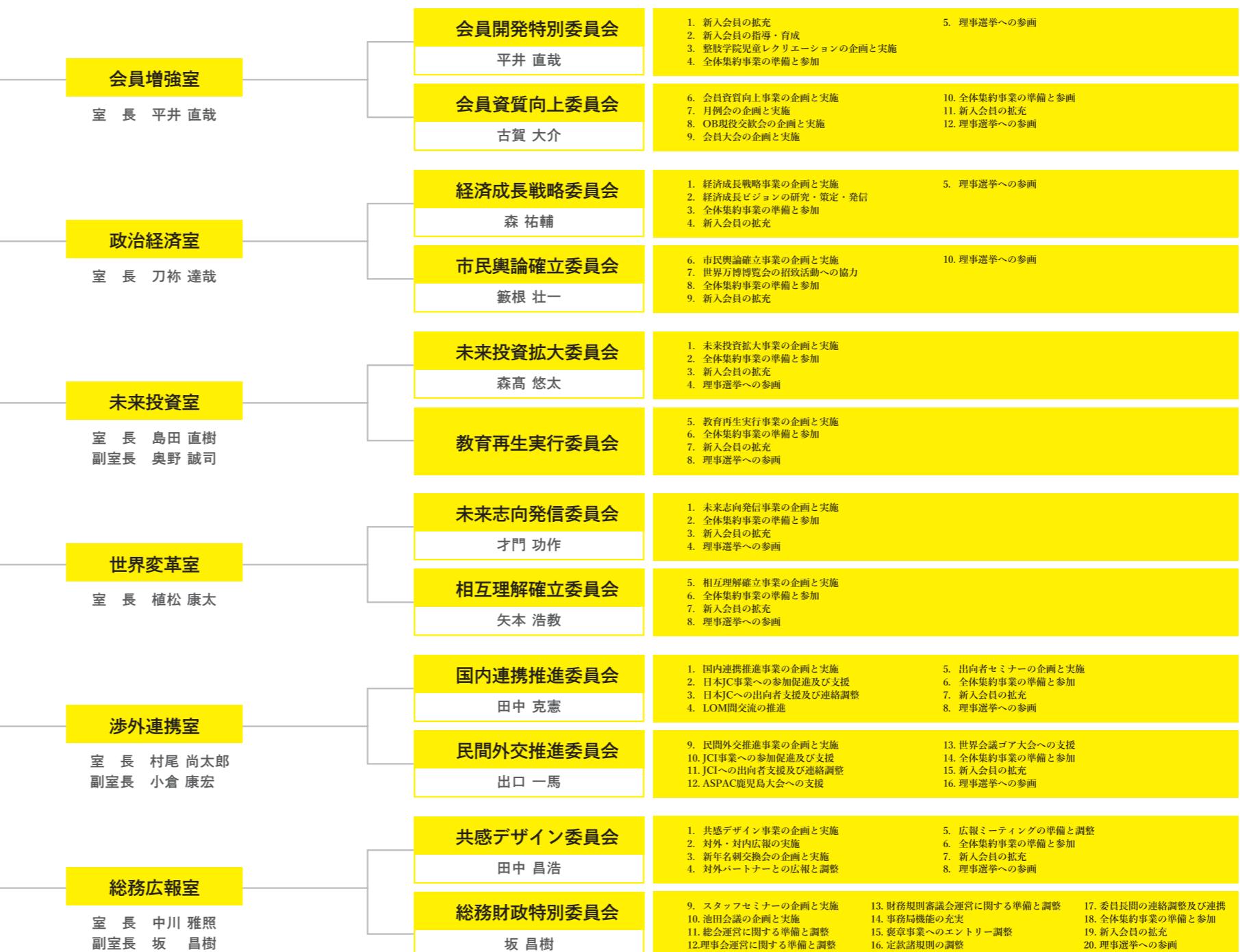
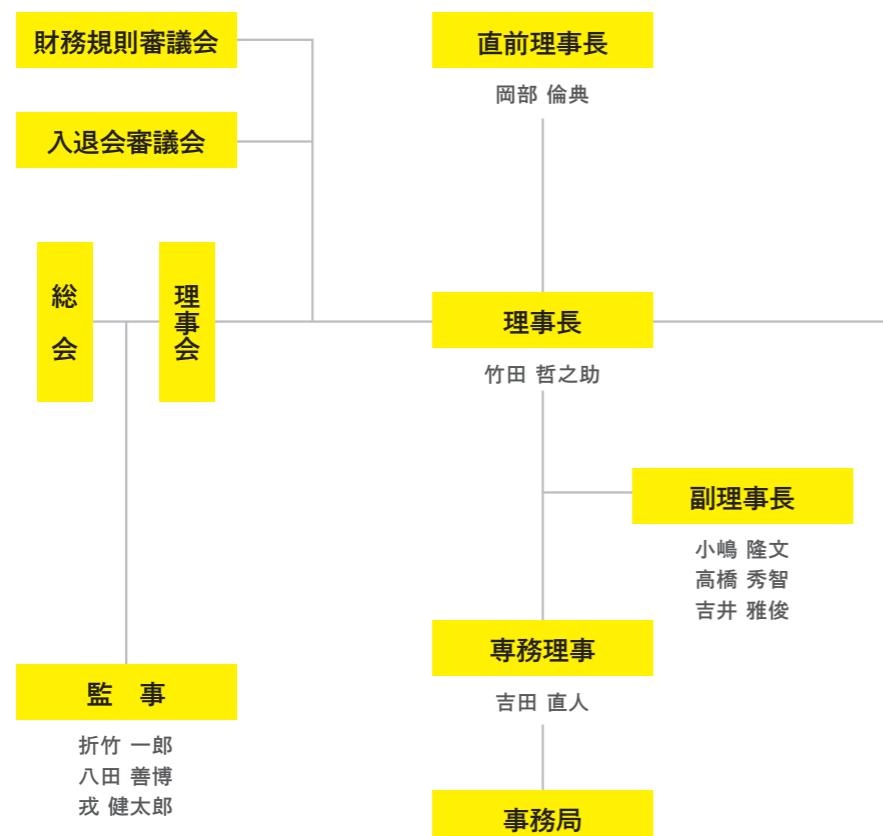
あの熱狂を再び大阪へ

BREAK THROUGH OSAKA!
大阪を次のステージへ!

BREAK THROUGH OSAKA

270万人の熱狂が世界を変える
大阪を次のステージへ

組織図



理事・役員一覧



MESSAGES FROM PARTNERS



大阪市長（2018年）
吉村 洋文 氏

平素より大阪市政へのご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

本年に於ましては、万国博覧会大阪・関西の誘致に向けて「経済成長ビジョンの公開提言」を提出いただき、また署名活動では54,049筆という本当に大きなお力添えをいただきましたこと、重ねて感謝申し上げます。

このお力添えが、万国博覧会誘致決定に多大な貢献を果たされたということを確認しています。

皆様方の積極的な活動が大阪の成長に大きく影響をしていることは言うまでもないことで

はありますので、今後とも大阪の成長の為に、変わらぬご活動、ご尽力賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、貴会議所の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。



橋爪 紳也 氏

大阪府立大学研究推進機構特別教授
大阪府立大学観光産業戦略研究所所長
大阪府特別顧問／大阪市特別顧問
一般社団法人 大阪青年会議所 顧問

2025年国際博覧会の大阪誘致に成功しました。大阪青年会議所も、おおいに貢献したと思います。

私は4年前、まったく白紙の段階から、大阪府が主導する基本構想の策定にあたって中心的な役割を担わせていただきました。さらに経済産業省による立案にも参画、特に会場計画に関しても博覧会の専門家として参画しました。ゆえに感慨深いものがあります。

誘致が成功した理由を、しばしば問われます。ひとつには国と地方行政、経済界が一致して展開した誘致運動が功を奏したことができるでしょう。また、ひとりひとりの可能性を尊重するテーマ設定、多様性を可視化した会場計画、社会実験を多彩に展開しようとするコンセプト、若者を前面に立てたプレゼンテーションも魅力的でした。同時に、国連が定めるSDGsへの貢献を強調し、各国と日本の企業や大学との共創によって、新しい価値を生み出そうとする提案も評価されたと思います。

加えて、大阪の都市としての魅力も関係者に訴求しました。歴史性、文化の豊かさ、さらには女性や外国人にも十分に活動の機会を

提供するダイバシティに飛んだ都市であることが、開催地にふさわしいと理解されたと思います。

私たちは2025年に向けて、誘致から準備の段階に移行しなければいけません。2019年には、開催主体となる新たな組織が立ち上がり、実施に向けた計画の立案が始まります。会場となる夢洲の埋め立てやアクセスなどのインフラ整備も動き始めます。

また私たちは、来るべき国際博覧会を、新たな企業活動や、さまざまな分野での若い才能が芽吹く好機と捉え、各領域でのインキュベーションを拡充すべきでしょう。優れた国際感覚を有したグローバル人材こそ、来るべき国際博覧会が、次世代の日本に残す優れたレガシーです。あわせて大阪を真の国際都市に転じさせるべく、市民のいっそうの盛り上がりも不可欠になります。

大阪は国際博覧会に向けて動き出します。大阪青年会議所も、未来を見据えて、さらなる活動を展開する時期を迎えています。



田坂 広志 氏

多摩大学大学院 名誉教授
大阪変革塾 塾頭
田坂塾 塾長

大阪変革塾は、この大阪という地域に、この日本という国に、そして、この世界に大きな変革をもたらすことのできる人材、すなわち「21世紀の変革リーダー」と呼ぶべき人材の育成をめざし、開塾されました。

しかし、我々が、本当に、目の前の現実を「変えよう」と思うならば、この「7つの知性」をバランス良く身につけていかなければなりません。

すなわち、「21世紀の変革リーダー」とは、人間、社会、自然に対する「深い思想」を学び、深い思想に裏打ちされた「未来のビジョン」を語り、より良き未来を切り拓くための「高き志」を抱いた人材のことです。そして、さらに、その高き志を実現するための「大胆な戦略」を描き、大胆な戦略を展開するための「創造的な戦術」を立て、創造的な戦術を実行するための「高度な技術」を身につけ、多くの人々が周りに集まってくれる「人間力」を磨き続ける人材のことにはなりません。

では、その「21世紀の変革リーダー」になるためには、何が必要か。

そのためには、「思想」「ビジョン」「志」「戦略」「戦術」「技術」「人間力」という「7つの知性」を垂直統合して身につけていくことが求められます。

ここで「垂直統合」とは、それら「7つの知性」を、すべて身につけていくということ。

世の中を見渡すと、魅力的ビジョンは語るが、足元が疎かになる人材、実務力はあるが、社会の地殻変動が読めない人材、見事な戦

略は立てるが、戦術的実行力がない人材、交渉技術は巧みだが、人間力が欠如している人材、事業の計画は語るが、志や使命感を語れない人材は、決して珍しくありません。

しかし、我々が、本当に、目の前の現実を「変えよう」と思うならば、この「7つの知性」をバランス良く身につけていかなければなりません。

すなわち、「21世紀の変革リーダー」とは、人間、社会、自然に対する「深い思想」を学び、深い思想に裏打ちされた「未来のビジョン」を語り、より良き未来を切り拓くための「高き志」を抱いた人材のことです。そして、さらに、その高き志を実現するための「大胆な戦略」を描き、大胆な戦略を展開するための「創造的な戦術」を立て、創造的な戦術を実行するための「高度な技術」を身につけ、多くの人々が周りに集まってくれる「人間力」を磨き続ける人材のことにはなりません。

大阪変革塾は、まさに、そうした人材の輩出を願い、この2018年度も、活動を続けてきました。

この塾から卒業した多くの塾生が、この大阪の各所で、日本の各地域で、世界各国で活躍することを、心より祈っています。



藤井 聰 氏

一般社団法人 大阪青年会議所 アドバイザー
京都大学大学院工学研究科教授
京都大学地域連携教育研究推進ユニット教授

かつて「以上」の輝かしい大阪を築きあげるために、

大阪万博が決定しました。これは大きなチャンスです。このチャンスを十分に活かすためにも、そのイベントを、単なる一過性のイベントで終わらせることなく、地に足を付け、万博「後」をしっかりと見据えた議論と実践が今、強く求められていることができるでしょう。その時に今、一番求められているのは、「適切な診断」です。なぜなら、治療行為において「診断」が間違つていれば、その治療行為全てが無駄になるどころか、かえって事態を悪化させてしまうことになるからです。その視点で今、大阪を診断すれば、今の大阪の衰退の最大の原因は圧倒的な「インフラ不足」と政府による激しい「緊縮」であるという実態が浮かび上がります。東京にすでに四本の新幹線が開通している中、大阪は一本。東京を中心とした関東エリアでは、ここ最近の政府答申において作るべしと宣言された鉄道路線の大半が「着工済み、または開通済み」である一方、大阪を中心とし

た関西においては政府答申で作ると主張した路線の大半が「未着工」なのです。この点を踏まえれば、この万博の機会に、かつての70年万博の前後の契機に、今の大阪の支えている御堂筋線や中央環状線が整備されたように、この万博「前後」の機会を通して大阪市内の「真に必要」な鉄道路線や北陸新幹線の整備を官民一体となって加速したり、リニア新幹線を名古屋・東京間よりも「早く」大阪名古屋間で整備することを決定する等も重要な機会となるでしょう。そうした議論と実践を加速する上で、大阪青年会議所は重大な役割を担い得る存在です。かつてのような輝かしい大阪の活力を、「かつて以上」に花開かせるための大阪青年会議所のこれから活躍を、大いに期待しています。

*大阪変革塾は、大阪青年会議所が主催する次なる革新を生み出す人材育成を目的とした事業です。

理事長挨拶



一般社団法人 大阪青年会議所
第68代理事長

竹田 哲之助

TETSUNOSUKE TAKEDA

平素より、一般社団法人 大阪青年会議所の活動に対し、行政、企業、教育機関、団体、市民の皆様にご理解、ご協力を賜り心より感謝を申し上げます。

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA」をテーマに、日本再生を牽引する民間主導の経済成長の実現、子どもの生きる力を育む生涯活躍社会の実現、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材の育成という3つの大きな政策を掲げ活動をして参りました。

24区1000名を超える輿論を集めた「経済成長ビジョン」の提言や、素直な心と逞しい身体を育む青少年育成事業、世界で活躍する人材を育成するSDGsを軸とした国内外でのプログラムなど、大阪、日本、世界を舞台に事業を実施させて頂きました。

2019年にはラグビーワールドカップ、国内初となるG20国際サミットが開催され、2025年国際博覧会の開催地が大阪に決定するなど、これまで以上に大阪は世界から注目されることになります。

2020年には、一般社団法人大阪青年会議所も70周年という節目を迎える中、日本だけでなく、世界の未来を明るく照らす国際都市大阪の実現に向けて、これからも活動を展開して参ります。

本年度の活動に対して多くのご支援を頂きました皆様に心よりの感謝を申し上げますと共に、2019年度の大阪青年会議所への本年度以上のご理解とご協力をお願い致します。

270万人の熱狂が世界を変える
BREAK THROUGH OSAKAから次のステージへ！

直前理事長挨拶



一般社団法人 大阪青年会議所
直前理事長

岡部 優典

MICHINORI OKABE

急速なITやAIなどの発展により、大きく時代が変化していく中、大阪は世界の新たな観光都市として発展しつつあります。そして、本年度、2025年の国際博覧会の開催地が大阪に決定しました。これを機に新たな未来都市の創造に向けて大阪は動き出しました。

このような状況の中、2018年度の一般社団法人 大阪青年会議所は、竹田哲之助理事長の下、「BREAK THROUGH OSAKA」を掲げ、大阪のまちに突き抜けた運動を展開してまいりました。社会やまちの問題を可視化し、組織やチームで設定した最終的な目標を達成するための過程を計測・評価する中間指標を掲げ、個別具体的な政策を策定し歩みを進めたのではないかでしょうか。そして、これからは個人の利益を超えて、より多くのステークホルダーと協力しながらまちを創造していく運動こそが必要と感じています。

また、未来の街のために個々を尊重しながら、世界で活躍できる人財を育成することが、これからの大坂、日本を創造していく必要不可欠なことだと考えています。私たち青年会議所が、まちの中でのオピニオンリーダーとして世界に先駆けた運動を展開し、持続的に発展して欲しいと思います。

そして、組織内においても様々な取り組みを実施してきました。創始より受け継がれてきた志をもって、守るべきものはしっかりと守り、時代に即した改革をしたことがこれからの組織の礎になることを確認しています。これからも青年会議所運動がより力強くより躍進できる未来志向な組織であり続けて欲しいと思います。

また、本年は小嶋隆文君をJCI副会頭として輩出した年でもありました。OB諸兄、関係各位のみならず全国各地の多くの皆様からご支援を賜り、1年間役割を全うすることができたことに厚く御礼申し上げます。

結びになりますが、本年、「BREAK THROUGH OSAKA」に向けて、ご支援ご協力を頂きました、行政・企業・関係諸団体・市民の皆様に心より厚く御礼申し上げるとともに、2019年度に相わりませずご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。1年間本当に有難うございました。

役員挨拶



副理事長
小嶋 隆文
RYUBUN KOJIMA

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ~」をテーマに掲げ、会員増強室、会員開発特別委員会、会員資質向上委員会の副理事長として担当させていただきました。今年度実施した対外事業を力強く推進し、また、2019年G20、ラグビーワールドカップの開催、2025年日本万国博覧会など世界から大きな期待を寄せられている大阪を牽引していくリーダーの育成に努めてまいりました。大阪青年会議所は、40歳までという時間的制限のなか、地域や会社、様々な場面においてのリーダーシップを発揮する能力を開発し、恒久的世界平和の実現に寄与する団体でございます。新陳代謝を繰り返し、常に時代に先駆けて課題解決にあたり、団体内外問わず、まちのための有機的かつ機動的なつながりを構築するためにはどのような人間であるべきか。自らの使命と哲学を見出し、まずは自分一人から、身近な人びとを巻き込み270万人を熱狂させ、かつて大阪と呼ばれた都市の再興を牽引するための指導力向上を目的とした研鑽の機会を数多く創り出しました。

2018年度は、215名の新たな仲間を迎えて、様々な事業を通して、仲間と切磋琢磨し、未来にむけて熱狂する人材へと育成してまいりました。また、先輩諸氏との交流や、多くの企業団体とのコラボレーションを通じて、設立当初より受け継がれてきた創始の精神を再認識、ただ潮流に乗るのではなく、私たちが新たな時流を生み出していくという気概を醸成してまいりました。

結びとなりますが、2018年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
高橋 秀智
HIDENORI TAKAHASHI

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ~」をテーマに掲げ、未来投資室、未来投資拡大委員会および教育再生実行委員会、また世界変革室、未来志向発信委員会および相互理解確立委員会の担当副理事長として1年間活動し、未来投資室では、子どもたちの生きる力を育む生涯活躍社会の実現をめざし、国家予算の約30%を占める社会保障費を削減し、未来への投資拡大に向けて、子どもを育てる大人たちに逞しい身体作りと、偏差値教育をはじめ比較されることで自信をもつことができない子どもたちの自己肯定感を育む素直な心の必要性を伝え、世界変革室では、人類に真の進歩と調和をもたらす「突き抜けた人材」の育成に務め、行き過ぎたグローバリズムが生み出す世界の諸問題を是正し、物質的にも精神的にも幸福を追求できる世界を実現するために、既知と既知の組み合わせから次なる革新を生み出し、世界に圧倒的な期待感をもたらす人びとを創出してまいりました。

まず、わんぱく相撲大阪市大会において、健康増進ブースにて逞しい身体について考える機会を提供し、大阪城トライアスロン大会に参画をしました。BREAK THROUGH THE BORDERではタグラグビー大会を行い、身体作りとともに2019年に迎えますラグビーWORLD CUPへの機運を高めることができました。そして、小学校に素直な心を広げていく出前授業として未来投資教室を開催しました。また、「誰もが幸福を追求できる世界へ~突き抜けた人材が世界を変える~」をテーマに掲げ、国連ヤングリーダーズに選出された5名のイノベーターを招致し、TOYP(世界の傑出した若者たち)事業を開催しました。そして、UN SDGs(持続可能な開発目標)ゴール3の推進と連動し、「TRUE HEART FOR NEXT INNOVATION~素直な心で次なる革新を生み出そう~」をテーマにPeace Conference of Youthを開催しました。日本の学生同士のプログラムを開催した後に、福祉国家フィンランドとIT先進国エストニアでの海外研修を経て、海外の学生を迎えたグループワークを行ったことで、より質の高い議論が展開されました。

結びとなりますが、未来投資室、世界変革室の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



副理事長
吉井 雅俊
MASATOSHI YOSHII

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ~」をテーマに掲げ、政治経済室、経済成長戦略委員会および市民輿論確立委員会の担当副理事長として1年間活動し、日本再生を牽引する民間主導の経済成長の実現をめざして、行政の積極的な財政出動、企業の未来に向けた投資の拡大による活発な国民経済の循環、そして、正しい知識に基づく市民輿論の確立を推進してまいりました。

まず、公益資本主義の推進として、BREAK THROUGH COMPANYを開催させていただき、200社以上の企業様に受講いただきました。また、全24区1,000名を超える方々にご参加いただいたBREAK THROUGH CAFEでは、正しい経済知識の必要性を感じていただき、大阪の未来についての意見集約をさせていただきました。そして、市民の声を集約した経済成長ビジョンを提言してまとめ、9月に開催させていただいたBREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOにおいて、大阪市吉村市長にお渡しし、インフラ整備や特区の活用などの投資拡大を働きかけさせていただきました。

日本万国博覧会の誘致では万博誘致委員会様と提携させていただき、大阪青年会議所事業の様々なシーンにおける署名活動で50,000筆を超える賛意を集め、11月23日のBIE総会での大阪関西万国博覧会決定に寄与することができたものと考えております。

結びとなりますが、2018年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に、関係各所の皆様から多大なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

役員挨拶



専務理事
吉田 直人
NAOTO YOSHIDA

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ~」をテーマに掲げ、1年間運動を展開して参りました。

1950年の大阪青年会議所設立から68年目となる本年度は、戦後70年を過ぎた時代の中で、明るい豊かな大阪の実現のために、日本再生を牽引する民間主導の経済成長の実現、子どもの生きる力を育む涉外活躍社会の実現、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材の育成を柱にメンバー1000名とともに、未来へ向けて私たち一人ひとりが価値の根源であり続けることが出来るよう、1年間運営をさせていただきました。

9月には、大阪青年会議所の全体集約事業として、BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOを開催し、吉村大阪市市長にもご参加を頂き、大阪青年会議所が一体感をもって2日間の事業を開催させていただきました。

財務面や運営面では、一般社団法人として6年目を迎え、新たなシステムの導入、会員費や各種登録費の決済方法、会員名簿整備事業や事務局体制強化、組織の資産である会員拡充にも大いに取り組み、新たな時代に向けての組織の確立と財政基盤強化を図って参りました。

本年度我われの行ってきた運動が、2019年度以降の組織やまちに志が引き継がれ、大きく飛躍されることを祈念致します。

結びとなりましたが、2018年度の一般社団法人大阪青年会議所の活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りました関係各位に対し、心より感謝申し上げますとともに、2019年度も本年度同様ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



監事
戎 健太郎
KENTARO EBISU

本年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ~」をテーマに掲げ、竹田理事長の強いリーダーシップのもと、1000名のメンバーの皆様と共に、日本再生を牽引する民間主導の経済成長の実現、子どもの生きる力を育む生涯活躍社会の実現、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材の育成を果たされました事を1年間通して確認してまいりました。

また、215名の新入会員拡充、5回のフォーラム開催、204名の出向者の支援、エストニアのJCIトームペア、ブルキナファソのJCIワガ ゴールデン、ナイジェリアのJCIエコーの3LOMとのシスター提携、広報誌「SENCIA」vol. 1~6の発刊など、政策実現のための強固な組織構築につきましても確認してまいりました。

政治経済室・未来投資室・世界変革室の対外3室、会員増強室・渉外連携室・総務広報室の対内3室がすべての事業で連動したことにより1000名のメンバーが熱狂し、その熱狂が大阪に住み暮らす270万人を熱狂させたことは、日本万国博覧会の誘致が実現されましたことからも明らかです。対外3室を下支えてくださった対内3室の皆様には心より感謝申し上げます。

結びとなりますが、本年度掲げた政策の実現、そして各室が連動する強固な組織を構築できましたのも、ひとえにOB諸兄の皆様、行政をはじめといいますカウンターパートの皆様、そして政策に共感いただき、事業へ参加、若しくは参画いただきました大阪のまちに住み暮らす皆様のご協力があったからこそと考えております。心より感謝御礼申し上げます。そして、来年度以降もより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



監事
折竹 一郎
ICHIRO ORITAKE



監事
八田 善博
YOSHIHIRO HATTA

THE OSAKA-KANSAI JAPAN EXPO

大阪万博開催決定！

あの熱狂が・・・再び大阪に！

2018年 大阪青年会議所 万博誘致活動の歩み

2017 | 9.2

万博誘致のオフィシャルパートナー登録



2017 | 12.22

吉村洋文 大阪市長と竹田理事長の対談・意見交換



2018 | 2.13

大阪府 松井一郎府知事へ署名提出

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区協議会 会長 神澤正太郎君、大阪ブロック協議会 会長 中川紀弘君、公益社団法人 岸和田青年会議所 理事長 永野耕平君と共に、理事長 竹田哲之助君、副理事長 吉井雅俊君が、大阪府松井一郎府知事へ日本万国博覧会誘致実現のため、3,031筆の署名を提出しました。



2018 | 2.21

BREAK THROUGH FORUM Vol.1 EXPO Nightを帝国ホテル大阪にて開催



2018 | 3.1-8.1

タウンミーティングを大阪市内全24区30回で開催し、延べ1,000名以上の参加



左 / 2025年日本万国博覧会誘致委員会事務局 事務局総長 桝 真夏 氏
右 / NAKED Inc. 代表取締役 村松 亮太郎 氏

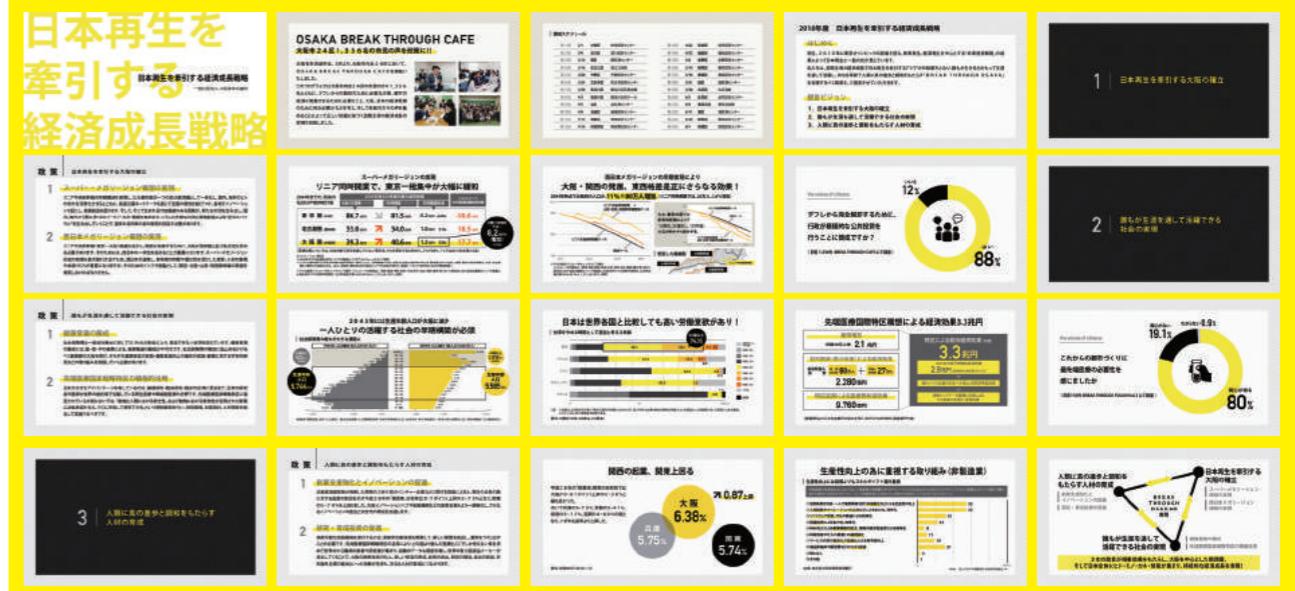
2018 | 9.9-9.10

BREAK THROUGH OSAKA 2018

プレ万博と称して、BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOをうめきたサンパーク（うめきた2期B区域）、ナレッジシアター、ホテルモントレ大阪にて開催。吉村洋文 大阪市長に提言書を提出。



日本再生を牽引する経済成長戦略



2018 | 10.10-11.4

市民輿論確立委員会による誘致賛成の署名活動



2018 | 11.5

大阪府へ署名提出

大阪府庁を訪問し、副理事長 吉井雅俊君より新井純 副知事に54,049筆の署名を提出しました。



2018 | 11.23

BIE総会にて、日本・ロシア・アゼルバイジャンの3カ国から、開催地が日本の関西・大阪に決定しました





BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO

ブレイクスルー オオサカ 2018 エキスポ
大阪のミライを 学ぶ 創る 体感する



BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOは、8/9の2日間に渡り、プレ万博と称して、大阪のミライを学ぶ・創る・体感するをテーマに、うめきた広場・ナレッジシアター・ホテルモントレ大阪にて開催しました。

台風や当日の天候がすぐれない中、延べ14,000人が来場し、吉村洋文大阪市長をお招きしてのパネルディスカッション、公開提言などを行い、SDGsの普及に率先取り組んでいくことや、2025年世界万国博覧会の大阪開催の機運を高める2日間となりました。

(11/23に大阪開催が決定)

こいや祭り



吉本新喜劇&よしもと漫才



体感する



メイン会場・サブ会場

うめきたサザンパーク・
ホテルモントレ大阪

創る

吉村大阪市長への公開提言



キッズダンスコンテスト



ACTION～未来を創造するのは私たちだ～



270万人を熱狂させる
リーダー拡大ワークショップ



サテライト会場

ナレッジシアター
THEATER



SDGs×PCYフォーラム



地方創生フォーラム



大阪変革塾

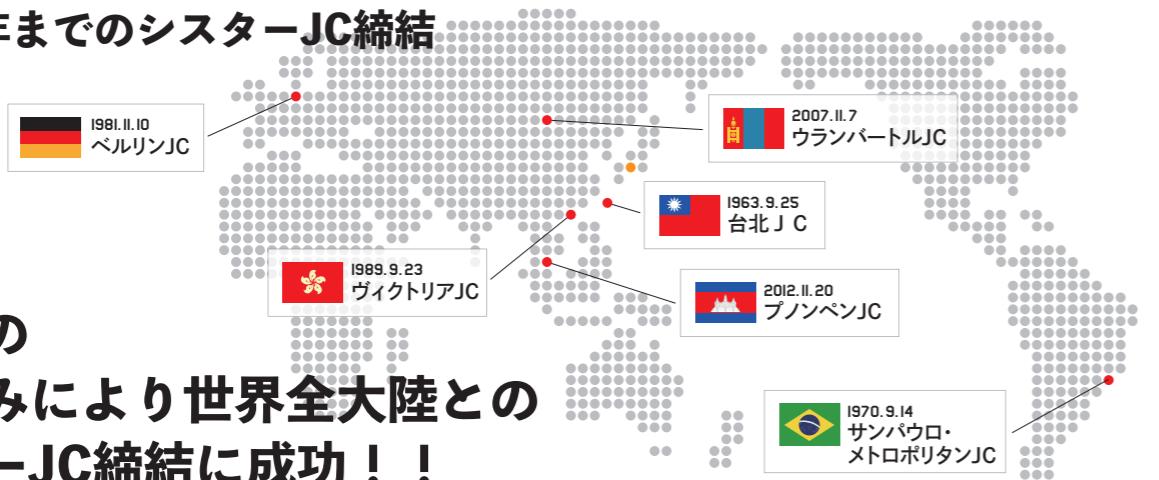


未来を生き抜く経営フォーラム



世界を熱狂させる

■2017年までのシスターJC締結



**本年度の
取り組みにより世界全大陸との
シスターJC締結に成功！！**

■民間外交会談

2018 | 3.10

理事長 竹田哲之助君、理事 矢本浩教君、理事 出口一馬君が、IT先進国であるエストニアへ訪問し、3／10夕方よりJCIトームペア(LOM)のリーダー理事長とメンバーの皆様と、お互いの政策や活動の情報交換などを行いました。

そして、JCIエストニア(NOM)のセンター会頭にも途中参加を頂き、エストニアの現状や、2019年度の世界会議の見所(環境・ビジネス・自己開発)などを教えて頂き、民間団体ならではの交流ができました。

*このご縁がきっかけで、7／30～8／4までPCYの海外プログラムをエストニアの首都タリンを中心に実施致しました。



2018 | 5.11-12

理事長 竹田哲之助君、常任理事 村尾尚太郎君、理事 出口一馬君が、アフリカのエリア会議が開催されるベナンのコトヌーにおいて、5月11日12時より、JCIブルキナファソ(NOM)のJCIワガゴールデン(LOM)と、5月12日9時より、JCIナイジェリア(NOM)のJCIエコー(LOM)と会談をさせて頂きました。どちらのLOMとも、とても未来志向な対話をすることができ、11月に開催される世界会議インドゴア大会での姉妹JC締結へ向けて協議を重ねいくことになりました。

対談翌日のナイジェリアでは、この会談の記事が新聞に掲載され、注目を集めました。



■シスターJC締結式

2018 | 11.1

JCI世界会議インドゴア大会におきまして、2018年度JCI会頭マーク・ブライアン・リム君の立ち会いのもと、JCIトームペア(エストニア)、JCIワガゴールデン(ブルキナファソ)、JCIエコー(ナイジェリア)の3LOMとの姉妹締結を行いました。

3LOMと一緒に締結することは過去にない事例となりました。また世界全大陸とシスター締結を行ったことにより、全世界を巻き込むような連携事業への期待も高まります。



RELATIONSHIP!

JCIトームペア JCI TOOMPEA

英語表記	JCI TOOMPEA
設立	1991年
会員数	約30名

2019年のJCI世界会議を開催するエストニアの中心部に所在し、30名のメンバーで活動しています。2018年度はエストニアがロシアから独立して、100周年目というメモリアルな年でした。

エストニアはIT先進国であると共に、e-Regidency(電子移住権)があり、スタートアップも始めやすく近年非常に注目されている国であります。今年度のJCI大阪の事業であるPCYを通じて、日本からエストニアへ16名の学生が訪れ、国際交流を図ることもできました。

エストニアは、NPO法人が身近な清掃活動から地球全体の環境保全を考える意識へつなげようとしてワールドクリーンアップデイが2008年よりスタートした活動です。

*参考:2018年9月15日の1日で世界150か国、数百万人のボランティアが参加



JCIワガゴールデン JCI OUAGA GOLDEN

英語表記	JCI OUAGA GOLDEN
設立	2005年
会員数	約48名

西アフリカに位置するブルキナファソの首都ワガドゥグエにあります。ブルキナファソは農業国であり、周りは6つの国(ベナン・トーゴ・ガーナ・コートジボアール・ニジェール・マリ)と国境に接する内陸国です。

活動としては国境との問題点改善やSDGsの推進、ワールドクリーンアップデイの事業などを行っています。



JCIエコー JCI EKO

英語表記	JCI EKO
設立	2000年
会員数	127名

ナイジェリア1,800万都市のラゴスにあります。非常に若いメンバーで構成されている中、当初10名からはじまり、現在では127名の会員が所属しています。SDGsの推進を行うことで、地域社会の問題解決・ジェンダー平等の実践・大統領選挙などを通じて平和と公正に取り組んでいます。

特にナイジェリアでは毎日50万人の10代の少年少女が喫煙していることから、中学生を対象とした禁煙セミナーを実施しています。



BREAK THROUGH OSAKA REPORT 2018



1月度

1/5 | 新年名刺交換会



1/13 | 1月度月例会、池田会議



2月度

1/19-21 | 京都会議

2/1 | 会員拡充事業
(事業説明会など全16回)

3月度

2/21 | BREAK THROUGH FORUM Vol. 1



3/18 | 3月度月例会



4月度

4/5 | 吉村大阪市長との
対談・意見交換

4/7-8 | 入会式・新人セミナー

4/8 | 広報誌「SENCIA」
卷頭対談
(落合陽一氏)4/10 | OSAKA BREAK
THROUGH CAFE
(大阪市内24区・全30回開催)4/25 | BREAK THROUGH
FORUM Vol. 24/26 | 大阪変革塾・PCY開校式
(9/9までプログラム開催)

5月度

5/3 | 第37回大阪市長杯
わんぱく相撲大阪市大会5/19 | 整肢学院児童
レクリエーション事業5/21 | BREAK THROUGH
COMPANY(205社で開催)

5/24-27 | ASPAC鹿児島大会



6/1 | 6月度入会式



6/10 | 大阪城トライアスロン

6/19 | BREAK THROUGH
FORUM Vol. 37/6 | 広報誌「SENCIA」
卷頭対談
(桂文枝氏)

7/14 | 近畿地区大会葛城大会

7/20-22 | サマー・コンファレンス
20187/27 | BREAK THROUGH
FORUM Vol. 47/31-8/4 | PCY海外プログラム
(エストニア訪問)

8/4 | 第30回なにわ淀川花火大会



8/7 | OB現役交歓会

9/2 | BREAK THROUGH THE
BORDER9/8-9 | BREAK THROUGH
OSAKA 2018 EXPO

9/16-21 | 第37回TOYP事業



9/21 | 9月度月例会



9/26 | 大阪ブロック大会松原大会



10/4-7 | 全国大会宮崎大会



10/11 | 10月度月例会

10/30-11/3 | 世界会議
インドゴア大会11/1 | JCI Toompea, JCI Ouaga
Golden, JCI EKOとのシス
ター締結11/5 | 2025年国際博覧会招致申
名54,409筆の署名を大阪府へ提出11/13 | BREAK THROUGH
FORUM Vol. 5

11/14 | 未来投資教室(全5回開催)



12/4 | 会員大会

01

会員増強室

会員開発特別委員会
会員資質向上委員会



会員開発特別委員会

Membership Development Special Committee

基本方針

想い描く理想の姿に向けて新たな一歩を踏み出すリーダーを育成します。

事業計画

私たちは、他者に恩返しの存在を認識し、自己成長を他者の幸福のためととらえ、人びとや経験に感謝の念を抱き、率先して勇気ある行動を選択し、理想の姿へと新たな一歩を踏み出すリーダーを育成します。

事業報告

1.新入会員の拡充

事業内容	210名の新入会員拡充を通じて、他者のために恩返しの存在を認識するリーダーを育成します。
実施時期	1月～5月
場所	ホテルモントレ大阪、FIVE南堀江、中之島LOVE CENTRAL、大阪青年会議所事務局
参加人数報告	目標：210名入会 結果：215名入会
実施方法の工夫	・服装規定の緩和や、設営人数を最小限にするなど呼びやすい、来やすい異業種交流会を設営しました。 ・役員によるプレゼンテーションや、外部講師の講演などによりJCI大阪への期待感を高めるとともに、活動を理解し、退会率を低下させることを目的とした事業説明会を設営しました。
事業目的に達した点	6月入会で目標を達成しました。
事業目的に達しなかった点	4月入会で目標の拡充人数を達成することができませんでした。

2.新入会員の指導・育成

事業内容	新入会セミナーや各種事業・新人企画事業の参画を通じて、何事にもとらわれず率先して勇気ある行動を選択し、想い描く理想の姿に向けて新たな一歩を踏み出すリーダーを育成します。
実施時期	実施時期 4/7(土)、8(日)、6/1(金)
場所	ナレッジシアター、勝尾寺、大阪青年会議所事務局
参加人数報告	目標：297名 結果：225名
実施方法の工夫	使命と哲学をもじらの人生に熱狂している方をお招きし、これからの活動への期待感を高めてもらいました。
事業目的に達した点	他者のために恩返しの存在を認識し、自己成長を他者の幸福のためととらえるリーダーを育成することができました。
事業目的に達しなかった点	事業目的に達しなかった点、目標参加人数を大幅に下回ることになりました。今後の事業を通じて、指導・育成をフォローしてまいります。

3.整肢学院児童レクリエーションの企画と実施

事業内容	整肢学院児童レクリエーションの企画と実施を通じて、自己成長を他者の幸福のためととらえられるリーダーを育成します。
実施時期	5/19(土)
場所	社会福祉法人恩賜財団済生会支部大阪府済生会 大阪整肢学院・万博記念公園
参加人数報告	目標：・対内 旧人 132名／新人 195名／役員 7名 合計 334名 結果：・対内 旧人 79名／新人 114名／役員 7名 合計 200名 ・対外 児童 85名／職員 80名 合計 165名
実施方法の工夫	・児童が喜ぶ姿を想像しながら企画に向き合う事で、背景や立場の違う一人ひとりが持ち合っている力を結集し立ち向かう必要性を感じてもらう場として、13年ぶりに遠足企画を実施いたしました。 ・新人メンバーが中心となって事業を行えるよう、新人企画事業を実施いたしました。
事業目的に達した点	新人メンバーが中心となって事業を行うことで、自己成長を他者の幸福の為と捉えるリーダーを育成することができました。
事業目的に達しなかった点	目標参加人数を大幅に下回ることになりました。参加できなかった新人メンバーに対して、今後の事業を通じて、指導・育成をフォローしてまいります。

室テーマ

270万人を熱狂させるリーダーを生み出そう！



常任理事 会員増強室
室長 平井 直哉
NAOYA HIRAI

2019年G20やラグビーワールドカップの開催、また2025年日本国際博覧会の開催など、いま大阪は再び熱狂しようとしています。このような社会背景を捉え、今年度、会員増強室では、「270万人を熱狂させるリーダーを生み出そう」をテーマに、中長期的にまちを牽引していく人材として、どう生きるのかという使命と確固たる哲学をもって、青年らしく生命の炎を燃やし、直向に生きるリーダーが求められていると仮説のもと、組織や自分たちの活動に誇りをもち、新たな時流を生み出す自らの役割を認識し、互いを磨き続ける関係性を構築し、失敗を恐れずに挑戦する直向性の行動力を有し、人びとを熱狂させる素直な心を拡げていくリーダーを輩出する運動を展開してまいりました。

会員開発特別委員会では、新たに迎えた約200名の新入会員を対象に、事業を実施いたしました。4月の入会式を皮切りに、様々な事業への参画、そして主体的な事業構築を経験する中で、素直な心で仲間と侃々諤々の議論を交わし、人生に熱狂するきっかけをつくってまいりました。特に、新たな試みとして、11月度の例会を新入会員を中心に企画から運営までを行い、公開例会として多くの市民の皆さんにご参加いただきました。

会員資質向上委員会では、全メンバーを対象として、例会の実施や、先輩諸氏との交歓会など、人びとを熱狂させる会員個人の資質向上につながる事業を実施いたしました。

特に、7月に行われました公開例会では、FM802、こいや祭り実行委員会とコラボレーションし、例会の在り方を見直し、市民と一体となった事業を構築し、新たな時流を生み出す意気概を高めました。

結びとなりますが、事業実施にあたり、多大なるご協力を賜りましたすべての皆さんに、心より御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。

会員資質向上委員会

Membership Qualities Improvement Committee

基本方針

仲間との熱狂の中から見出した未来へ挑戦するメンバーをあふれさせます。

事業計画

私たちは、創始の志を理解し、時流を気にせず想いを発する意志をもち、互いを受け入れる関係を構築し、誰にも負けない努力で仲間を支え、熱狂の中から見出した未来へ挑戦し続けるメンバーをあふれさせます。

事業報告

1.会員資質向上事業の企画と実施

会員資質向上事業（JCIセミナー）の企画と実施を通じて、誰にも負けない努力で仲間を支える気概を有するメンバーをあふれさせます。

実施時期 実施時期 4月～9月

場所 大阪青年会議所事務局、阿倍野生涯学習センター、大東洋

参加人数報告 目標：395名 結果：486名

実施方法の工夫 JCIセミナーだけでなく、大阪青年会議所の歴史、今年度の取組み、未来に向けた内容のセミナーを行うことで、メンバーの皆様に興味を持ってもらいやすい取組みを行いました。

事業目的に達した点 多くのメンバーに参加していただけで、受け継がれてきた創始の志を理解してもらうことができました。

事業目的に達しなかった点 第2回Presenterセミナー中止、ならびに第1回Vision Mission & Values (VMV) セミナーに日程の問題が生じたことで、参加人数が目標に達しませんでした。

2.月例会の企画と実施

月例会・公開例会の企画と実施を通じて、時流を気にせず自らの想いを発する意志をもち、互いを真正面から受け入れる関係を構築します。

実施時期 1月～11月

場所 帝国ホテル大阪、不死王閣、Zepp NAMBA

参加人数報告 目標：・対内 4,954名 ・対外 2,100名 ・合計 7,054名
結果：・対内 3,821名 ・対外 1,537名 ・合計 5,358名

実施方法の工夫 ・対外3室の取組みに連動した講師をお呼びし、大阪青年会議所の取組みを理解していただけるようにしました。

・公開例会を5回開催し、様々なカウンターパートと連動することで対外の参加者に周知を行いました。

事業目的に達した点 オープンな月例会を行うことで、大阪青年会議所の取組みを理解してもらうことができました。

事業目的に達しなかった点 事業目的に達しなかった点、事前告知がスムーズに行えず、予定していた参加人数を動員することができませんでした。

3.OB現役交歓会の企画と実施

OB現役交歓会の企画と実施を通じて、受け継がれてきた創始の志を理解してもらいます。

実施時期 8月7日(火)

場所 リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間

参加人数報告 目標：・OB 137名 ・現役 599名 ・合計 736名
結果：・OB 180名 ・現役 281名 ・合計 461名

実施方法の工夫 オープニング映像にて、今年度の政策の中間発表となる内容を発信しました。

事業目的に達した点 過去から受け継がれてきた事業の内容やKPIの達成度などのメンバーの自信につながる内容の映像を見てもう事により創始の志を理解いただけました。

事業目的に達しなかった点 事業目的に達しなかった点、目標の参加人数を大幅に下回ることになりました。

4.会員大会の企画と実施

会員大会のアワード、理事長引継ぎ式、卒業式を通じて、誰一人手を放すことなく1年間共に熱狂してきた仲間の尊い想いやそれぞれの活動を素直な心で称え合う場を創出します。

実施時期 12月4日(火)

場所 リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間

参加人数報告 目標：・OB 70名 ・現役 700名 ・同伴者 9名 ・合計 779名
結果：・OB 69名 ・現役 634名 ・同伴者 10名 ・合計 731名

実施方法の工夫 リアルとバーチャルの融合を映像と生演奏で表現しました。

事業目的に達した点 誰にも負けない努力で仲間を支える気概を有し、仲間との熱狂の中から見出した未来へ挑戦するメンバーをあふれさせました。

事業目的に達しなかった点 事業目的に達しなかった点、目標の参加人数を大幅に下回ることになりました。



会員開発特別委員会

Membership Development Special Committee



特別委員長
平井 直哉

NAOYA HIRAI

私たち、会員開発特別委員会では、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向けて新入会員を対象に、他者のために尽くす仲間の存在を認識し、自己成長を他者の幸福のためととらえ、新たに出会う人びとや経験に感謝の念を抱き、何事にもとられず率先して勇気ある行動を選択し、想い描く理想の姿に向けて新たな一歩を踏み出すリーダーを育成すべく、運動を展開してまいりました。

4月に行われた入会式では、元武雄市長の樋渡啓祐氏をお招きし、青年会議所が地域から求められる役割や、大阪青年会議所の可能性についてご講演いただきました。その後の新人セミナーでは、仲間との議論を通じて、今年度の政策の理解を深め、また万博誘致やSDGsの推進に向けた私たちの役割を知ってもらいました。整肢学院事業では、一人でも多くの児童に大阪の未来に期待を寄せてもらうために、万博をテーマに様々なレクリエーションを行うとともに、大阪青年会議所として13年ぶりとなる遠足と

して万博記念公園に赴き、これまでにないほどの児童の笑顔をあふれさせました。そして、BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOでは、OSAKA LEADERS SUMMITと題して、市民の皆さん約100名をお招きし、万博誘致やSDGsをテーマに私たちの熱狂に大いに共感していただきました。また、11月度月例を公開例会とし、新入会員が主体となって企画から運営まで実施いたしました。SDGsの推進を目的としてゴール14「海の豊かさを守ろう」を掲げ、講師にさかなクン氏をお招きするなど、自由な発想で侃々諤々の議論を重ね、約360名の市民の皆さんにご参加いただき盛会に終えることができました。

そのほか、多くの事業において素直な心で仲間と向き合い、主体的にまちづくりにかかわっていく気概が醸成されたものと確信いたします。

結びになりますが、当委員会の事業実施に当たり、ご支援賜りましたすべての皆さんに感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



会員資質向上委員会

Membership Qualities Improvement Committee



委員長
古賀 大介

DAISUKE KOGA

私たち、会員資質向上委員会では、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向けて大阪青年会議所メンバーを対象に、受け継がれてきた創始の志を理解し、時流を気にせず自らの想いを発する意志をもち、互いを真正面から受け入れる関係を構築し、誰にも負けない努力で仲間を支える気概を有し、仲間との熱狂の中から見出した未来へ挑戦するメンバーをあふれさせるべく、運動を展開してまいりました。

1月度の月例会を皮切りに、今年度は特に、講師講演のみならず、役員とのトークセッションなど、今年度の政策に即した内容を通じて、メンバーの政策に対する理解を深め、また活動に対する期待感を高めてまいりました。特に公開例会は全5回を実施し、多くの市民の皆さんに参加いただくとともに、数多くの団体、企業とのコラボレーションを行うことで、月例会の在り方を見つめ直し、新たな潮流を生み出すべく、様々な挑戦を行ってまいりました。特に、7月に実施いたしましたBREAK THROUGH FO

RUM VOL. 4では、FM802、こいや祭り実行委員会と連携し、Zeppなんば大阪にて熱狂夜と題して、私たち日本人の素直な心を育んできた和の精神性を大いに発信いたしました。

また、今年度はBREAK THROUGH ACADEMYと題し、JCIセミナーのみならず、JCトリセツを実施いたしました。JCトリセツでは、理事長をはじめ、役員が経験してきたこと、出向やスタッフ、理事選挙や、理事としての活動など、広くメンバーに周知し、より活動に熱狂する気概を高めてまいりました。そして、1年間の集大成である会員大会においても、1年間の政策の成果を振り返り、未来へと挑戦する自信と気概を高め合う機会となりました。

結びになりますが、当委員会の事業実施に当たり、ご支援賜りましたすべての皆さんに感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長
青山 修	井上 茂依
英賀 雄介	岩本 仁治
平井 直哉	浅井 太一
大西 正敏	芦田 陽祐
幹事	押村 直志
川畑 太介	安部 久史
小松 直哉	内田 哲
武信 浩行	内田 孝明
清水 康秀	江川 晶士
島中 光平	日下 亮太
長野 裕樹	葛川 聖大
羽原 功峻	鈴木 あかり
前田 祐三	内藤 絵梨奈
細田 謙一	毒島 光志
宮秋 賢三	永井 芽樹
森 雄介	二村 伸紀

岩本 仁治	川崎 康平	鄭 埼喆	玉山 泰章	平岩 佑彦	松下 兼久	山本 紗鈴
上田 友久	河田 英之	白石 達也	寺前 雅文	平塚 靖己	松下 淳一	山本 貴也
菊池 顯	白原 龍一	當眞 銅成	平山 敏	松田 健作	山本 展大	
北村 一	城間 辰裕	土岐 勝	福永 寿子	松根 龍一	山本 昌史	
木村 彰宏	菅原 知	徳田 聖也	藤原 宗太	松村 太輔	山本 隆大郎	
江川 晶士	日下 亮太	杉浦 健文	鳥越 明子	藤原 浩貴	松本 茂大	湯浅 博人
葛川 聖大	鈴木 伸行	鈴木 あかり	内藤 絵梨奈	松山 奈央	若松 幸弘	
葛川 聖大	永井 芽樹	永井 芽樹	毒島 光志	光本 健吾	和多田 泰久	
鈴木 伸行	二村 伸紀	二村 伸紀	北條 恵美	宮崎 真典		
合林 茜	住江 悠	中桐 和也	中桐 和也	森田 慧		
高橋 弘樹	北條 恵美	北條 恵美	阿良ミオアン	森田 慧		
高橋 弘樹	細井 隆二	細井 隆二	高橋 一郎	中村 佐佑		
高橋 弘樹	森田 慧	森田 慧	高橋 一郎	本田 泰河		
高橋 弘樹	高橋 慶	高橋 慶	高橋 一郎	安渡 慶		
高橋 弘樹	中村 登喜夫	中村 登喜夫	中村 登喜夫	矢吹 保博		
高橋 弘樹	前田 菜々実	前田 菜々実	前田 菜々実	山崎 克将		
高橋 弘樹	西尾 直樹	西尾 直樹	西尾 直樹	山崎 克将		
高橋 弘樹	眞下 幹弘	眞下 幹弘	野田 賢太郎	松井 勝裕		
高橋 弘樹	山崎 克将	山崎 克将	野田 賢太郎	山田 浩介		
高橋 弘樹	山野 謙介	山野 謙介	松岡 歩未	山野 謙介		
高橋 弘樹	畠 伸太郎	畠 伸太郎	畠 伸太郎			
高橋 弘樹	松岡 歩未	松岡 歩未				
高橋 弘樹	畠 伸太郎	畠 伸太郎				
高橋 弘樹	山野 謙介	山野 謙介				

STAFF

委員長	副委員長	委員
古賀 大介	岡本 仁志	石川 亮
	徳田 正和	江戸 將人
幹事	原田 大資	菊池 龍二
安部 由佳	石丸 健	田之上 真也
上田 哲也	古庄 敏之	福岡 厚志
杉立 慎太郎	井尻 典克	山根 鉄平
丸山 雄基	大道 誠	幹事
百鳥 浩基	小林 泉	原田 大資
	岩谷 良平	北平 大輔
	岩野 未来	中馬 和子
	岡山 和弘	福川 聰志
	上野 晃一	札場 雅弘
	小倉 健宏	友藤 忠昭
	宇都宮 雄亮	増井 優平
	金子 大智	丸山 晃司
	梅村 健介	岩野 博
	叶 裕一	中山 浩介
	江崎 辰典	御手洗 万里衣
	河村 麻衣	成田 豊
		南林 弘基
		西尾 翼
		山下 寛輝
		西田 伸祐
		山田 俊輔
		野田 見司
		大和 大司

02.

政治経済室

経済成長戦略委員会
市民輿論確立委員会



経済成長戦略委員会

Economic Growth Strategy Committee

基本方針 日本再生の中核として個と公を調和させた生成発展を実現する人びとを創出します。

事業計画 私たちは、受け継がれた資産の価値を知り、取り巻く環境に心を抱き、課題解決に必要な要素を的確に理解し、持続的な成長を牽引する気概を携え、個と公を調和させた生成発展を実現する人びとを創出します。

事業報告

1. 経済成長戦略事業の企画と実施

事業内容	OSAKA BREAK THROUGH COMPANY、未来を生き抜く経営フォーラム～公益資本主義で新たなステージへ～、ACTION!!～今、私たちにできること（公開提言）～の企画と実施を通じて、受け継がれてきた資産の価値を見出し、都市を取り巻く環境に心を持ち、未来を見据えた持続的な成長を牽引する人びとを創出します。
実施時期	1/1(日)～9/30(月)
場所	大阪青年会議所事務局、訪問先企業の会議室
参加人数報告	目標:200社 結果:205社
実施方法の工夫	企業に対してアタックを行い、企業診断アンケートを実施し、その企業にあった企業診断セミナーの実施をしました。
事業目的に達した点	デフレーションからの完全脱却に向け誰もが豊かさを享受できる未来を自らの力で創り上げる意識を高めてもらいました。
事業目的に達しなかった点	実際に公益資本主義自体に興味をもっていただき、どういった取り組みがあるのかを知っていただくところから実際に自社で実践するところまで、リーディングすることができませんでした。

2. 経済成長ビジョンの研究・策定・発信

事業内容	経済成長ビジョンの研究・策定・発信を通じて、課題の解決に必要な要素を的確にとらえる人びとを創出します。
実施時期	1/1(日)～9/30(月)
場所	うめきた第2地区 メインステージ
参加人数報告	一
実施方法の工夫	タウンミーティング参加者、公開提言参加者に対して、政策の有用性を伝え、課題解決につながる政策へとつなげました。
事業目的に達した点	大阪が経済成長を果たすために、現状足りないものを有識者の声を聞きつつ必要なものを拾い上げ、吉村洋文 大阪市長へ提言をすることができました。
事業目的に達しなかった点	事前の事例研究の部分で政策のターゲットを絞り込むことができなかったため、大阪のまちにとってどういった目的で具体的にどのような施策を実施すべきだったのかまで落とし込むことができなかった。

室テーマ

民間主導の経済成長で日本再生を牽引しよう！



常任理事 政治経済室
室長 刀祢 達哉
TATSUYA TONE

2019年度、政治経済室では「民間主導の経済成長で日本再生を牽引しよう！」をテーマに正しい知識にもとづいた市民輿論を確立し、東西二極の一極として民間主導の経済成長を実現するべく運動を展開してまいりました。

そのために、世界や日本において大阪が果たしてきた役割を理解し、政治や経済に対する正しい知識を有し、日本再生を牽引する都市の成長戦略を想い描き、経世済民を自らが率先して実践し、誰もが豊かさを享受できる経済成長を実現へと導く人びとを創出することを目的とした2つの委員会で事業を推進して参りました。

経済成長戦略委員会では、企業を対象に、正しい経営を行う企業の成長の一助となる取り組みとして、公益資本主義経営を題材に「BREAK THROUGH COMPANY」を205回開催させていただき、世界会議ゴア大会においてアワードにノミネートされました。また、日本再生を牽引する成長戦略として、市民から頂いた意見を集約した提言書を吉村市長にお渡しし、メディアでも取

り上げて頂くことができました。

市民輿論確立委員会では、正しい市民輿論の構築に向けて大阪市全24区において「BREAK THROUGH CAFE」を開催し、1,356名のご参加を頂き、成長戦略の基盤となる多くの市民の声を集めることができました。さらに、日本万国博覧会の誘致において、日本全体での自筆署名数合計40万筆のうち、12.5%となる54,049筆の署名を大阪青年会議所として集めることができ、実現への大きな原動力になったと確信しております。

本年度、これらの事業をもって、正しい知識にもとづいた市民輿論を確立し、東西二極の一極として民間主導の経済成長を実現する一助となり、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現につなげることができました。

事業実施に当たり、ご支援賜りました全ての皆さんに感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。

市民輿論確立委員会

Citizen Controversy Establishment Committee

基本方針 民間主導の成長を実現する正しい市民輿論を牽引する人びとを創出します。

事業計画 私たちは、都市の現状を俯瞰的にとらえ、物事の本質を理解し、日本再生を実現する理想の姿を想い描き、時流に流されず己の意思で判断し、民間主導の成長を実現する正しい輿論を牽引する人びとを創出します。

事業報告

1. 市民輿論確立事業の企画と実施

事業内容	OSAKA BREAK THROUGH CAFE・FUTURE WORLD EXPOの企画と実施を通して、都市の現状を俯瞰的な視野でとらえ、日常の中で起きている何気ない事象の本質を理解し、時流に流されることなく自らの意思で判断し、民間主導の成長を実現する正しい市民輿論を牽引する人びとを創出します。
実施時期	1/11(木)～8/1(水)
場所	大阪市全24区の区民センターなど
参加人数報告	目標:1,256名 結果:1,363名
実施方法の工夫	CAFEで飲み物を飲むというコンセプトにて、参加しやすい雰囲気づくりを行いました。
事業目的に達した点	大阪市内全24区において、1000名を超える市民の方々にプログラムにご参加頂き、幅広く、政治と経済の正しい知識を伝えることができました。
事業目的に達しなかった点	一般参加者を多く動員することができませんでした。

2. 世界万国博覧会の招致活動への協力

事業内容	万国博覧会誘致活動を通じて、都市の現状を俯瞰的な視野でとらえ、日本再生を実現する理想の姿を想い描き、民間主導の成長を実現する正しい市民輿論を牽引する人びとを創出します。
実施時期	1月～11月
場所	大阪市内各所、京都・金沢・鹿児島・横浜・宮崎・葛城・松原・ゴア
参加人数報告	目標:50,000筆 結果:54,049筆
実施方法の工夫	タウンミーティング参加者、公開提言参加者に対して、政策の有用性を伝え、課題解決につながる政策へとつなげました。
事業目的に達した点	2025年日本万国博覧会という好機を活用して、経済を大きく発展させられることを知って頂くことができました。
事業目的に達しなかった点	なし



経済成長戦略委員会

Economic Growth Strategy Committee



委員長

森 祐輔

YOSUKE MORI

私たち経済成長戦略委員会は、受け継がれてきた資産の価値を見出し、都市を取り巻く環境に関心を持ち、課題の解決に必要な要素を的確にとらえ、未来を見据えた持続的な成長を牽引する気概を有し、日本再生の中核としてこと公を調和させた生成発展を実現する人びとを創出していくことを目的に活動を行ってまいりました。

日本経済の停滞に伴い、企業の事業効率化の端を発した東京一極集中が加速している中、東西二極の一極として、大阪が官民一体の経済成長を牽引するために、企業、行政へのアプローチを実施いたしました。

1月から9月にかけて、公益資本主義の推進の必要性について企業向けセミナーであるBREAK THROUGH COMPANYを実施し、200社を超える企業に自社の公益に対する経営体質の分析と課題の抽出を行っていただき、利益の観点だけではない、社会的価値について考察いただきました。そして、その分析結果を基に公益資本主義経営への関心を高めるセミナーを実施し、行き過ぎた株

主資本主義経営に警鐘を鳴らす事業を実施させていただきました。また、市民の声を集約し専門家の意見を取り入れて作成した経済成長ビジョンを、9月に開催したBREA K THROUGH 2018 EXPOにて、大阪市の吉村市長へお渡しさせていただきました。

最後になりますが、ご協力いただきました行政、各種団体のみなさまに心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
森 祐輔	朝田 繩行	明田 佳樹 岡本 崇義
	池田 泰典	浅田 雄太 奥 朋也
幹事	乾 菜月	足立 順二郎 奥野 雅明
太田 愛	永廣 勇資	阿南 貴弘 小椋 雄司
小川 潤	西澤 孝朗	池田 康二 尾崎 誠人
榎木 達也		伊藤 良夏 川口 友子
谷内 圭一郎		稻見 育大 河原 由次
山川 正時		今田 翔一 橘川 亜紀
		井本 哲平 紀平 満
		臼井 廉宜 阪本 剛史

委員長	副委員長	委員
森 祐輔	朝田 繩行	坂本 直未 辻 亮 林 裕満
	池田 泰典	浅田 理 寺田 一弥 秀島 勇介
幹事	乾 菜月	足立 順二郎 佐藤 俊 寺田 弥生 増永 充浩
太田 愛	永廣 勇資	阿南 貴弘 小椋 雄司 神藤 昌平 十川 知芳 松永 浩明
小川 潤	西澤 孝朗	池田 康二 尾崎 誠人 菅尾 英佑 中谷 哲彌 水守 研二
榎木 達也		伊藤 良夏 川口 友子 鈴木 順子 中谷 寛彦 溝淵 大一
谷内 圭一郎		稻見 育大 河原 由次 高山 匡貴 中村 真仁 三輪 洋子
山川 正時		今田 翔一 橘川 亜紀 竹内 健也 波壁 義典 吉村 大助
		井本 哲平 紀平 満 竹澤 哲平 長谷川 栄雄 錄家 直之
		臼井 廉宜 阪本 剛史 竹下 健吾 濱永 健太 和田 敦雄

市民輿論確立委員会

Citizen Controversy Establishment Committee



委員長

藪根 壮一

SOICHI YABUNE

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催、大阪においては、2019年ラグビーワールドカップの開催を控える現在、2025年の世界万国博覧会の誘致活動は、民間主導の経済成長と市民の意識と知識を向上させ正しい輿論を形成する好機になります。

私たち市民輿論確立委員会では、都市の現状を俯瞰的な視野でとらえ、日常の中で起きている何気ない事象の本質を理解し、日本再生を実現する理想の姿を想い描き、時流に流されることなく自らの意思で判断し、民間主導の成長を実現する正しい市民輿論を牽引する人びとを創出していくことを目的に運動を展開してまいりました。

そのために、大阪市全24区において「BREAK THROUGH CAFE」を開催し、1,356名のご参加を頂き、正しい政治と経済の知識にもとづいて市民自らの意思を表示することができるよう、正しい政治と経済とは何なのかと共に考え、経済成長に必要なビジョンを想い描き、経済成長ビジョン策定に向けた多くの市民の声を集約する

ことができました。

さらに、日本万国博覧会の誘致に向けて、大阪青年会議所として54,049筆の署名を集め、民間主導の経済成長への参画意識を高めると共に、2018年11月24日博覧会国際事務局(BIE)総会にて、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、1970年以来、実に55年ぶりとなる誘致の決定に大きく貢献しました。

最後になりますが、多くの市民のみなさま、行政、各種団体のみなさまに多大なるご協力をいただきましたことに心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
藪根 壮一	内本 明伸	赤田 純也 金井 崇憲 小林 洋介
	高橋 究	浅野 智之 金山 紘彰 坂 幸樹
幹事	徳岡 大輔	有得 昌吾 川端 嶺太 阪倉 篤史
川崎 伸也	肱岡 徹	上田 浩嗣 北野 憲二 佐藤 要祐
佐藤 陽太	樹 和也	大谷 諭司 金 大輝 清水 友大
高山 恵子		緒方 真悟 久保 佑允 赤代 理史
玉井 旭		越智 敬一 黒田 健夫 武田 大輔
則武 直樹		落合 広規 小池 克英 竹村 季晃
		香川 正和 小久保 淳 田中 優司
		片畠 博貴 小島 雅士 田中 崇雄
		谷口 真由 山田 麻香
		中村 周造 弓場 麻由
		横山 真央
		橋本 政則 四十宮 麻美
		濱 孝生
		瀬村 充哉
		堀北 晶子 宮尾 徹
		村上 直也
		山崎 浩司

03. 未来投資室

未来投資拡大委員会
教育再生実行委員会



未来投資拡大委員会

Future Investment Expansion Committee

基本方針	生きる力を育む未来への投資拡大を実行する人びとを増やします。
事業計画	私たちは、成長を支える必要性に共感し、誰もが活躍できる社会の姿を描き、生涯成長の取り組みを実践する使命感を抑え、努力の大切さを伝える行動力を有し、未来への投資拡大を実行する人びとを増やします。
事業報告	

1. 第37回わんぱく相撲大阪市大会の企画と実施

事業内容	第37回わんぱく相撲大阪市大会の企画と実施を通じて、社会全体で子どもの成長を支える必要性に共感し、生きる力を育む未来への投資拡大を実行する人びとを増やします。
実施時期	5/3(木)
場所	エディオンアリーナ(大阪府立体育会館)
参加人数報告	目標：子ども1,500名・大人2,250名 合計：3,750名 結果：子ども1,550名・大人1,700名 合計：3,250名
実施方法の工夫	様々なカウンターパートがブースや体験スペースを設けることで、参加人数を増やす取り組みを行うことができました。
事業目的に達した点	わんぱく相撲大阪市大会の参加者を広く募集し、わんぱく相撲大阪市大会の参加者を増やしました。
事業目的に達しなかった点	事業当日のシミュレーションが不十分でした。また参加児童が少ない状況となりました。

2. 大阪城トライアスロン2018の企画と実施

事業内容	大阪城トライアスロン2018の企画と実施を通じて、誰もが活躍できる社会の姿を想い描き、成長への取り組みを実践する使命感を抑え、生きる力を育む未来への投資拡大を実行する人びとを増やします。
実施時期	6/9(土)、10(日)
場所	大阪城公園
参加人数報告	・トライアスロン大阪青年会議所メンバーによるランティア 目標：350名、結果：271名 ・KIDS CHALLENGE 目標：50名、結果：36名 ・ENERGY CHARGE 目標：200名、結果：79名 ・大阪青年会議所の大会出場メンバー全員の完走 目標：14名、結果：10名
実施方法の工夫	大阪城トライアスロンの実行委員会メンバーに参画することで、大会と連動した取り組みを行うことができました。
事業目的に達した点	KIDS CHALLENGEで、子どもたちにトライアスロンに興味を持つもらう取り組みを行うことができました。
事業目的に達しなかった点	ENERGY CHARGEで、目標人数を大幅に下回る結果となりました。大阪城トライアスロン協会へ申し入れを行いました。

3. BREAK THROUGH THE BORDERの企画と実施

事業内容	BREAK THROUGH THE BORDERの企画と実施を通じて、誰にも負けない努力の大切さを伝える行動力を有する人びとを増やします。
実施時期	9/2(日)
場所	ドコモ大阪南港グランド
参加人数報告	目標：120名、結果：115名
実施方法の工夫	・協賛金を募ることで、Tシャツを作成することができました。 ・多くの協賛、共催、支援、協力をいたくことで、様々な取組みを行うことができました。
事業目的に達した点	FIVESを通じて、誰にも負けない努力の大切さを伝える行動力を有する人々を増やすことができました。
事業目的に達しなかった点	なし

室テーマ

未来への投資で生きる力を育もう！



常任理事 未来投資室
室長 島田直樹
NAOKI SHIMADA



常任理事 未来投資室
副室長 奥野誠司
SEIJI OKUNO

人口知能など新技術の発達により社会構造が変化し、多くの子どもや若者が将来に不安を感じています。本年度、未来投資室では、私たち大人が生きる力をもった子どもを育み、誰もが生涯を通じて成長し、活躍できる社会を実現する未来への投資が必要だと考えました。

誰もが生涯活躍できる社会を想い描き、子どもたちの未来に期待感をもたらす責任を自覚し、成長し続ける基盤となる健全な心身を築き、自己肯定感を育む正しい教育を自らが実践し、生きる力をもった子どもを社会全体で育む人びとをあふれさせる事を目的として政策を開展して参りました。

未来投資拡大委員会では、生涯活躍できる逞しい身体づくりをテーマに、大阪市長杯第37回わんぱく相撲大阪市大会、大阪城トライアスロン2018、BREAK THROUGH THE BORDERを実施致しました。

多くの大人に逞しい身体づくりの重要性を体感して頂いた事で、地域や立場を越えた共生で子どもたちの成長を支えていく意識を高める事ができました。

教育再生実行委員会では、自己肯定感を育む素直な心をテーマに、わんぱく相撲大阪市大会懇親会、未来投資教室推進セミナー、未来投資教室、BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO～熱狂!ULTRAキッズダンスコンテスト～、BREAK THROUGH CHALLENGEを実施致しました。

参加して頂いた大人に対し、自らが模範として持続的な成長への取り組みを実践していく意欲を醸成する事ができました。すべての大人が、未来を生きる子供たちへ圧倒的な期待感を与え、逞しい身体づくりと、素直な心を兼ね備えた「生きる力」をもった子どもを育む環境が必要です。

未来への期待感を与える責任を自覚し、生涯活躍社会の姿を想い描き、成長の基盤となる健全な心身を築き、自己肯定感を育む正しい教育を実践し、生きる力を社会全体で育む人びとをあふれさせる事ができ、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現への一助となりました。1年間ありがとうございました。

教育再生実行委員会

Education Reproduction Execution Committee

基本方針	生きる希望に満ちあふれた生涯活躍社会を実現していく人びとを創出します。
事業計画	私たちは、子どもを導く当事者としての自覚をもち、課題に取り組む役割を理解し、素直な心を育む環境を築く意欲を携え、個々の存在の価値を見出し、希望にあふれた生涯活躍社会へと導く人びとを創出します。
事業報告	

1. 未来投資教室セミナー、未来投資教室の企画と実施

事業内容	未来投資教室セミナー・未来投資教室の企画と実施を通じて、自らが子どもを導く当事者であることを認識し、課題解決に取り組む役割を理解し、素直な心を育んでいく環境を構築する意欲をもつた人びとを創出します。
実施時期	4/11(水)、8/22(水)、9/8(土)、11/17(土)、11/27(水)、12/3(土)
場所	大阪市中央公会堂、西中島小学校、豊崎本庄小学校、瓜破西小学校、生江小学校
参加人数報告	未来投資教室セミナー 目標：100名、結果：107名 未来投資教室 参加人数報告 目標：20校、結果：4校
実施方法の工夫	・講師バンクの登録されている方にアンケートをして、参加していただけることができました。 ・従来の社会人講師授業、大阪青年会議所メンバーやSDGsの政策内容の授業を実施いたしました。
事業目的に達した点	子どもから保護者、教師、PTA関係者、講師バンク登録者に自己肯定感を高めてもらいました。
事業目的に達しなかった点	未来投資教室の開催が目標を達成することができませんでした。

2. BREAK THROUGH CHALLENGE!!

事業内容	BREAK THROUGH CHALLENGE!!の企画と実施を通じて、一人ひとり存在が有する価値を見出し、生きる希望に満ちあふれた生涯活躍社会を実現していく人びとを創出します。
実施時期	1/11(月)～12/4(火)
場所	リーガロイヤルホテル大阪 光琳の間
参加人数報告	目標：240名、結果：60名
実施方法の工夫	・会員大会のアワードの表彰対象として、委員会や個人で競い合いながら体脂肪削減に取り組んでくれました。 ・逞しい身体づくりの方法について、SNSなどで発信を行いました。
事業目的に達した点	体脂肪削減企画に参画することで、生涯活躍社会を実現していく人びとが増えました。
事業目的に達しなかった点	体脂肪削減企画において、選抜した全てのメンバーに最後まで挑戦してもらおうことが出来ませんでした。



未来投資拡大委員会

Future Investment Expansion Committee



委員長
森高 悠太

YUTA MORITAKA

私たち未来投資拡大委員会は、社会保障費を削減し、未来への投資を拡大するために、「逞しい身体づくりができる環境」を広げていく人びとを増やすべく、1年間、活動して参りました。

「大阪市長杯第37回わんぱく相撲大阪市大会」では、1,000名以上の小学生の皆様にご参加頂き、事業を通じて逞しい身体づくりへの意識を高めてもらいました。また、同会場にて、「体力測定」や「健康関連」のブース、障害者スポーツ「ボッチャ」の体験など、大人の方にも楽ししながら「逞しい身体づくり」を体験できるコーナーも設けました。来場者数は3,000名を超え、テレビや新聞など複数のメディアにも取り上げて頂くことができ、「逞しい身体づくりができる環境」の大切さを広く発信することができました。

「大阪城トライアスロン2018」では、主催団体の一つとして多くのメンバーがボランティアとして参加し、大会実行委員会からは積極的な運営協力に高い評価を頂きました。また、選手として出場するメンバーのトレーニングを密

着取材し、大会当日までの様子をSNSで配信しました。さらに、大会前日に独自事業として、子どものトライアスロン教室、食事で逞しい身体をつくるカーボパーティを開催しました。具体的な「逞しい身体づくり」の方法を発信することができ、機運を高めることができました。

「BREAK THROUGH THE BORDER」では、5対5のタックルなしのタグラグビー「FIVES」の大会を開催しました。「FIVES」は、性別・年齢に関係なく参加できるスポーツで、男性も女性も、子どもから大人まで、200名を超える皆様にご参加頂くことができました。また、多くの皆様のご協力により総予算の3分の2以上を協賛で賄うことができました。逞しい身体づくりのために、様々な団体・企業の枠を越えて、全ての人びとが「逞しい身体づくり」の環境と重要性を広げていけることができました。

多くの皆様のご協力のおかげをもちまして、すべての事業を開催し、成功させることができました。ご協力頂きました皆様には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



教育再生実行委員会

Education Reproduction Execution Committee

私たち、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向け、子どもたちを取り巻く環境が偏差値教育の台頭により、常に誰かと比較されることで、自分に自信が持てず、「素直な心」を育む環境が少なくなっている昨今、子どもの自己肯定感を高め、素直な心を育むためには、まず、私たち大人が自己肯定感を高めることが必要性や方法を知ってもらい、学校や地域、そして家庭内で広げていく必要があると考え、未来投資教室(社会人講師事業)」を実施して参りました。

大阪青年会議所の社会人講師事業として12年目を迎える本年は、私たち大人が自己肯定感について学び、考えるきっかけとなるセミナーを107名の大人にご参加頂き、4月に開催致しました。講師には、株式会社PHP研究所の大江 弘氏をお招きし、松下 幸之助翁の「素直な心」と「自己肯定感」の関係性等についてご講演頂きました。このセミナーを皮切りに各地域各方面においてご活躍されている方々を社会人講師としてお迎えし、講師自身の社

会での実経験を伝えて頂く機会と、大阪青年会議所が企画立案した、公益資本主義の推進、素直な心の推進、SDGsの推進、3つの政策をパッケージとした未来投資教室を実施致しました。

政策発信におきましては、社会体験を軸とした内容と素直な心の大切さを伝え、持ち合わせる個性や特徴を長所として捉えながら、子どもたちの自己肯定感を育み、健やかな成長へと繋がるための機会としました。成果として、大人150名、子ども365名に1セミナー・25コマの事業を実施し、子どもだけではなく大人にも「素直な心」を高めることの大切さを伝えることが出来ました。一人ひとりの自己肯定感を高め、子どもたちに未来への期待感と素直な心を育んで参りました。

最後になりますが、1年間を通じてご協力賜りました、大阪市、学校、各種団体、企業、地域の皆様に心より感謝御礼申し上げます。1年間ありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
森高 悠太	滝本 祐一	朱条 知子 鵜沼 佑彌 河中 一朗 喜峨根 照道 玉井 幸介 原田 誉之 森本 晃太郎
	土井 康孝	芦野 竜司 大澤 一慶 岸田 城政 佐々木 亮輔 田村 誠 日向 英敏 吉田 慧
幹事	速水 悠輔	生田 晴之 大村 雅祥 北澤 望夢 澤田 昭絵 月城 浩 福本 隆史 吉村 久
池田 陽一	松井 隆明	幾度 智徳 岡田 慎太郎 北野 真巳 柴田 和子 中尾 武史 藤井 啓太
清水 大吾	淀 洋和	一瀬 知史 奥本 和久 清本 世哲 末岡 俊一郎 中島 聖智 藤井 裕介
中谷 龍太		今井 勇治 小野 貴弘 久保 大輔 関谷 昌子 中造 真一郎 船倉 亮慈
柳 千景		岩佐 公達 小原 佳人 倉田 壮介 高山 洋平 西尾 一雄 松井 豊
		岩佐 仁美 加藤 賢一 小居 雅司 竹川 聰 西谷 尚志 三島 徹
		植松 真央 川上 智之 後藤 行宏 畠部 照太 三島 俊彦
		植本 彰 川崎 哲 小林 佑太朗 田中 良龍 服部 悠介 三角 佐代子

STAFF

幹事	副委員長	委員
植田 学	草分 陽一	青野 圭佑 牛渡 裕也 小林 裕典 砂田 雄飛 豊川 重国 前川 一成
音野 顕宏	更家 一徳	赤崎 智章 宇都宮 和加人 金馬 直紀 世古口 佳典 中岡 祐太 増田 智基
津崎 高明	日野岡 信一朗	秋田 俊幸 及川 健太 齋藤 誠一郎 濱戸口 敬 中川 譲治 三島 大樹
山田 純也	藤井 準	荒木 星 大西 翼 佐伯 太朗 高橋 友香 林 弘治 森川 祐樹 山本 剛士
渡邊 智仁	吉田 直也	荒鹿 高行 小桐 裕介 酒井 七郎 宝本 美穂 原田 裕康 倉前 秀和 横 大貴
		池添 晃平 勝亦 謙介 坂口 央 田口 敦 布川 孝志朗 和田 益明
		池田 篤司 金沢 宜明 坂口 浩聰 田中 勝一郎 布川 孝志朗
		一花 裕一 金本 洪一 目 耕一 田中 威之 藤田 温香
		井上 富雄 木下 隆英 澤田 雄介 谷 史誠 藤本 幸治
		上原 大助 小坂 梨緑菜 壽谷 将隆 辻本 一磨 堀川 雅典



未来志向発信委員会

Future-oriented Dispatch Committee

基本方針

次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす人びとを創出します。

事業計画

私たちは、日本や大阪の歴史や文化に関心を抱き、最先端技術で持続的に発展する未来の姿を想い描き、素直な心で世界を変革する気概を抑え、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす人びとを創出します。

事業報告

1. 大阪変革塾の企画と実施

事業内容	大阪変革塾の企画と実施を通じて、日本や大阪の歴史や文化に関心を抱き、最先端の技術で持続的に発展する未来の姿を想い描き、素直な心で世界を変革する気概を有し、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす人びとを創出します。
実施時期	4/28(土)~9/9(日)
場所	大阪イノベーションハブ、さくらインターネット、LINKS北浜
参加人数報告	目標: 50名、結果: 33名
実施方法の工夫	講師講演を通じて、様々な価値観を受け入れることができました。
事業目的に達した点	受講生は次なる革新で人類に真に進歩と調和をもたらす人びとになると考えます。
事業目的に達しなかった点	準備の遅れから目標の募集人数を達成することができませんでした。

2. TOYP事業の企画と実施

事業内容	TOYP事業の企画と実施を通じて、未来志向の人材が有する様々な価値観を受け入れる人びとを創出します。
実施時期	9/15(土)~9/21(金)
場所	KKRホテル、関西大学梅田キャンパス、東宮御所など
参加人数報告	目標: TOYPメンバー 5名、ウェルカムパーティー参加者 70名、フォーラム参加者 240名 結果: TOYPメンバー 5名、ウェルカムパーティー参加者 5名、フォーラム参加者 120名
実施方法の工夫	TOYPメンバーには独創的な想像力と自らの価値観との融合により成った体験や経験をプレゼンテーション及びパネルディスカッションを実施しました。
事業目的に達した点	国連ヤングリーダーズより招聘したTOYPメンバー5名を通じて、多種多様な文化や異なる社会情勢のもと育まれた未来志向な人びとが備える独創的な想像力と自らの価値観との融合を模索する場を創出でき、未来志向発な発想を養っていくことが出来ました。
事業目的に達しなかった点	フォーラムについて、当初の目標より大幅に下回る結果となりました。

3. BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOの企画と実施

事業内容	BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOの企画と実施を通じて、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす人びとを創出します。
実施時期	9/2(日)、9/8(土)~9(日)
場所	うめきた第二地区、ナレッジセンター、ホテルモントレ大阪
参加人数報告	目標: 大阪市民 30,000 名、結果 14,058 名
実施方法の工夫	・ロハスフェスタ、バーガーEXPO、FM802、吉本興業と連動して取組みを行いました。 ・会場を複数会場にて同時開催し、シナジー効果を高めました。
事業目的に達した点	参加していただいた大阪市民の皆さんに、最先端の技術で持続的に発展する未来の姿を想い描き、素直な心で世界を変革する気概を有し、次なる革新で人類に真の進歩と調和をもたらす人びとを創出することができました。
事業目的に達しなかった点	台風や当日の天候の影響により、当初の目標より大幅に下回る結果となりました。

室テーマ

世界を変革する突き抜けた人材を大阪から！



常任理事 世界変革室
室長 植松 康太
KOTA UEMATSU

行き過ぎたグローバリズムが世界中に経済格差や環境問題を生み出し、すべての人びとが幸福を追求することが困難になっています。このような時代だからこそ、自国の歴史や文化に誇りをもち、リアルとバーチャルを融合させ、人類に進歩と調和をもたらす突き抜けた人材が必要です。

そのために、生まれた国や地域への誇りをもち、豊かさを享受するための技術を認識し、異なる事象の融合から新たな価値を生み出す気概を携え、世界の未来を明るく照らす使命感を有し、次なる革新により誰もが幸福を追求できる世界を実現する人材の創出を目的として取組んできました。

未来志向発信委員会では、大阪青年会議所の集大成事業となる「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」、既知と既知の融合から新たな価値を創出する人材を育成する大阪変革塾、世界で活躍するUN-YOUNG-LEADERSの中から5名を招聘しSDGsについて共に学ぶTOYP2018を実施致しました。

相互理解確立委員会では、カードゲーム等を通じたSDGsの推進、バーチャル会議という新たな方法で世界各国の学生とつながったTOYP2018を実施致しました。

人びとの価値観が多様化とともにテクノロジーが急速に進歩することで、未来の予測が極めて困難な時代を迎える今こそ、未来志向な意識をもって積極果敢に挑戦し、全てを受け入れる柔軟な思考が必要不可欠です。

本年度、事業にご協力頂いた多くのみなさまのおかげをもちまして私たちの目的が達成され、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現につながることができました。1年間誠にありがとうございました。

相互理解確立委員会

Mutual Understanding Established Committee

基本方針

物質的にも精神的にも豊かさをもたらす未来を実現する人材を創出します。

事業計画

私たちは、固有の精神性に関心を抱き、技術革新の先にある人の在り方を模索する意欲を構え、次代を創る人びとの価値観を理解し、素直な心を世界へ広げる気概を有し、幸福な未来を実現する人材を創出します。

事業報告

1. ワン・ワールド・フェスティバルの参加協力

事業内容	ワン・ワールド・フェスティバルの参加協力を通じて、次代と共に創造する人びとの価値観を理解する人材を創出します。
実施時期	2/3(土)、4(日)
場所	関テレ扇町スクエア、北区民センター、扇町公園
参加人数報告	目標: 一般来場者 20,000 名、メンバー 300 名 結果: 一般来場者 25,000 名、メンバー 281 名
実施方法の工夫	ブース出展やSDGsゲームのワークショップを実施しました。
事業目的に達した点	ワン・ワールド・フェスティバルに出席している国際社会で活動する諸団体に理解を深めて頂くことで活動発信の機会が更に拡げることができました。
事業目的に達しなかった点	なし

2. PCY事業の企画と実施

事業内容	PCY事業の企画と実施を通じて、受け継がれてきた精神性に関心を抱き、技術革新の先にある人の在り方を模索する意欲を構え、素直な心を世界に広げる気概を有し、物質的にも精神的にも豊かさをもたらす未来を実現する人材を創出します。
実施時期	4/28(土)~9/9(日)
場所	大阪イノベーションハブ、大阪青年会議所事務局、関西大学梅田キャンパス、グランフロントナレッジセンター
参加人数報告	PCY参加学生目標: (国内) 50 名、(留学生) 10 名 PCY参加学生結果: (国内) 19 名、(留学生) 10 名
実施方法の工夫	・IT先進国であるエストニアでの海外プログラムを実施しました。 ・台湾、タイ、エストニア、南アフリカ共和国とのバーチャルカンファレンスを実施しました。
事業目的に達した点	受講した学生が、世界の諸問題への視点や技術革新、理想の未来像について、物質的にも精神的にも豊かさを持つことができました。
事業目的に達しなかった点	全日参加してくれる学生が大変少ない状況となりました。

3. SDGsの推進

事業内容	SDGsの推進活動を通じて、次代と共に創造する人びとの価値観を理解し、物質的にも精神的にも豊かさをもたらす未来を実現する人材を創出します。
実施時期	通年
場所	大阪市内13カ所
参加人数報告	目標: 520名、結果: 212名
実施方法の工夫	・JANICひとこと多い張り紙の促進を行いました。 ・大阪青年会議所の事業や委員会にて開催をしました。
事業目的に達した点	大阪市東成区よりSDGsカードゲームの開催依頼をいただきました。
事業目的に達しなかった点	当初の目標人数よりも参加者が下回る結果となりました。



未来志向発信委員会

Future-oriented Dispatch Committee



委員長
才門 功作

KOSAKU SAIMON

未来志向発信委員会では、大阪変革塾～Global Academy Osaka 2018～、TOYP 2018、全体集約事業の3事業を実施致しました。

大阪変革塾～Global Academy Osaka 2018～は、大阪に住み暮らす20歳から40歳までの青年(大学院生/企業研究者)を対象に、誰もが物質的にも精神的にも豊かさを享受することができる未来に向けて、自らが熱狂して世界の課題を解決していく人材を創出するために開催いたしました。

田坂広志氏を壇頭に迎え計4か月間のプログラムを実施し、各界で活躍されている多彩な講師陣の授業やディスカッションを経て、各塾生グループが構築した事業プランのプレゼンテーション及びマッチングフォーラムを実施しました。

本事業を通じ、多様な課題解決に向けた事業プランが生まれ未来志向な人材の創出ができたと考えております。

TOYPでは、「誰もが幸福を追求できる世界へ 突き抜けた人材が世界を変える～」というテーマを掲げ、世界中18,000名の若きリーダー達の中から特に優れた社会企業家として国連に選ばれた17名の「国連ヤングリーダーズ」のうち5大陸の5

名をTOYPメンバーとしてお迎えしました。

5名のTOYPメンバーには、7日間に渡るスケジュールの中で大阪並びに日本の伝統芸能や食文化に触れ、また様々な人びとの交流を深めてもらうことにより、大阪人並びに日本人が歴史の中で醸成してきた精神性を感じていただきました。

また一般公開のTOYPフォーラムを実施し、持続可能な未来の先駆者として活動しているTOYPメンバーを知る機会を創出したことで、まちの人びとに対しこれからの自らの考え方や行動を変える意識変化をもたらすことが出来たと考えております。

全体集約事業では、「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO ~270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ～」というテーマのもと、大阪を拠点に活躍する企業、団体、学生ともに2日間にわたりプログラムを実施しました。

大阪の未来を考えるパネルディスカッションでは吉村洋文大阪市長にもご参加いただき、大阪青年会議所が立案した政策を提言致しました。

最後に、私たちの事業にご参画、ご協力を頂きました皆様に心より感謝を申し上げます。



相互理解確立委員会

Mutual Understanding Established Committee



委員長
矢本 浩教

HIRONORI YAMAMOTO

私たち相互理解確立委員会では、ワン・ワールド・フェスティバル及びPCY2018事業を実施致しました。

PCY2018事業は、人類に真の進歩と調和をもたらす突き抜けた人材を輩出するため、大学生を対象として、世界各国の同世代の学生と歴史や文化に関して相互理解を確立することを目的として事業を実施致しました。

開講式では、当該事業のゴールイメージをもってもらうことを目的としてSDGs推進のために世界で活躍しているUN-YOUNG-LEADERに来日頂きました。

また、先端技術の先にある人の在り方を模索する意欲を携えていただくため、PCYバーチャルカンファレンスを実施し、5ヶ国の学生(エストニア・台湾・タイ・南アフリカ)とSkypeでつながり、自國のSDGsゴール3「すべての人々に健康と福祉を」に関する重要な問題と解決策に関するプレゼンを行いました。

そして、実際に各国の問題の背景、歴史及び文化をより深く理解し、今後の国の在り方を考えるきっかけとするた

め、高福祉の国フィンランドとIT先進国エストニアに訪問する海外プログラムを実施しました。当該プログラムはエストニア国で国際協調部門賞及び会頭特別賞としてアワード受賞することができました。

また、これまで得た知見をもとに、国内留学生も参加し、直面する世界の問題についてのアクションプランを作成し、広く市民の皆さまの前で発表し好評を得ました。

ご協力いただいた皆さまのおかげをもちまして、無事プログラムを終了し、日本青年会議所大阪ブロック協議会国際協調部門最優秀事業賞にも選出頂くことができました。

また、ご参加いただいた学生の皆さまには、この機会を活かして世界を変革する突き抜けた人材になっていただこうことを切に願います。この度は本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
才門 功作	石元 篤	石橋 達也
	岡田 裕作	石山 直樹
幹事	加藤 慶太	大木原 正祥
伊藤 博規	瀧本 豊	伊藤 昌紘
狩野 雅彦	村上 秀信	岡本 真行
木下 伸二		亀澤 範行
佐藤 美咲		今西 賴久
政保 翔		岩崎 和仁
		川崎 聰介
		氏井 康介
		浦上 浩之
		浦本 淳
		浦本 佳則
		遠藤 剛紀
		大木原 正祥
		岡本 真行
		今西 賴久
		岩崎 和仁
		川崎 聰介
		氏井 康介
		浦上 浩之
		浦本 淳
		小手 健裕
		宍戸 俊文
		下岡 祐一郎
		寺澤 圭志
		中北 明宏
		裕尾 秀一
		中村 佳織
		丸山 正人
		橋詰 源一郎
		宮下 聖子
		森島 康文
		橋野 久人
		羽藤 将志
		森田 修二
		半田 朗子
		山口 敦央
		半田 貴子
		辻 直孝
		辻 秀明
		藤浪 寛
		山本 遼
		マグナイバヤル
		バトゾリグ
		山本 義継

STAFF

委員長	副委員長	委員
矢本 浩教	磯田 達也	青木 紘史
	北田 昇平	秋本 賢
幹事	熊井 麻千子	黄城 介男
石井 孝昌	森 崇絵	木元 香織
川㟢 啓伍	山本 哲史	高橋 隆亮
西浦 修平		高林 央
林 沙織		宇野 裕明
		工藤 恵太郎
		大石 慎太郎
		桑原 悠一
		高藤 勝一
		大城 晴香
		小林 篤史
		津村 多樹
		小川 将史
		小淵 隆大
		奥山 隆輔
		坂本 裕喜
		表 秀和
		澤田 武志
		中川 隆資
		金村 聰
		白石 陽一
		中島 雅子
		藤原 寛
		細川 直人
		山方 拓也
		結城 弘子
		中峯 将文
		西井 重超
		前川 晃一
		西村 孝太郎
		前田 真知
		西村 雄大
		松原 誠道
		長谷川 浩久
		道野 弘済
		範倉 美ロニール
		光信 嘉久
		畢 志鵬
		枠井 浩柄
		廣木 学
		森下 修二
		藤尾 雄一
		山田 隆則



05. 涉外連携室

国内連携推進委員会
民間外交推進委員会

室テーマ

世界を熱狂させる素直な心を拡げよう！



常任理事 涉外連携室
室長 村尾 尚太郎
SYOTARO MURAO



常任理事 涉外連携室
副室長 小倉 康宏
YASUHIRO OGURA

2019年度涉外連携室では「世界を熱狂させる素直な心を拡げよう！」をテーマに国内連携推進委員会、民間外交推進委員会の2委員会にて会員に対して素直な心をもって地域や国境を越えた連携を生み出していく運動を推進してまいりました。

日本全体をみれば、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が控えており、また、大阪においても、インバウンドの増加や2019年ラグビーワールドカップ開催、2025年万国博覧会誘致といった経済成長の機会と国際社会で存在感を発揮する機会を得て、未来が明るく照らされようとしています。

68年間、大阪のまちの発展を支え、歩みつけてきた大阪青年会議所も、その在り方を進化させ、日本国内のみならず国際社会に向けてその存在感を強めていかなければなりません。そのためには大阪青年会議所だけでなく、全国の青年会議所、世界の青年会議所との連携、情報交換、人的交流が不可欠であり、それらを推進していく組織体系が必要です。

そのため、涉外連携室では、目指すべき理想の未来を想い描き、世界で起きる様々な課題に対して当事者意識を有し、受け継がれてきた目に見えないつながりを進化させ、より広域な連携で課題解決に挑む気概を持ち、地域や国境を越えて素直な心を拡げていく

メンバーを増やして参りました。

2019年の活動を通じて、国内連携推進委員会では、青年会議所が主催する「京都会議」、「サマーコンファレンス」「全国大会宮崎大会」において、友好LOM（大阪青年会議所が設立に際しスポンサーとなっている青年会議所）を中心に全国各地の青年会議所との会議や集会を通じて事業の情報交換を行い、それぞれの地域の未来に活かせる連携を模索して参りました。また公益社団法人日本青年会議所、大阪地区協議会、大阪ブロック協議会への出向者180名の輩出と支援を行い、会員に成長と発展の機会を提供して参りました。

民間外交推進委員会では、国際的なつながりを強化するため、今まで姉妹締結を結んでいないアフリカエリア、ヨーロッパエリアに赴き、交渉を重ね、2018年11月1日にエコJC（ナイジェリア）、ワガゴールデンJC（ブルキナファソ）、トームペアJC（エストニア）と姉妹締結を結ぶことに成功しました。トームペアJCとは大阪青年会議所が行った国際事業における海外視察に大きな支援をいただきました。相互のより良い未来につながる連携を生み出すことができました。

素直な心により生み出すことができた、地域、国境を越えた連携を未来に紡いで参ります。1年間ありがとうございました。

国内連携推進委員会

Domestic Cooperation Promotion Committee

基本方針

新たな時流を生み出す素直な心を日本中に拡げるメンバーを増やします。

事業計画

私たちは、受け継がれた絆を理解し、課題解決に挑む使命感を認識し、強みの融合で革新を創造する気概を醸成し、理想を実現する関係を構築し、新たな時流を生む素直な心を日本に拡げるメンバーを増やします。

事業報告

1. 京都会議

事業内容	京都会議への参加促進並びに出向者支援を通じて、過去から受け継がれてきたつながりを認識し、課題の解決に挑戦する使命感を抱くメンバーを増やします。
実施時期	1/18(木)~21(日)
場所	国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
参加人数報告	目標:300名 結果:310名
実施方法の工夫	LOMナイトにおいて出向者全員が登壇し門出を祝うことができました。
事業目的に達した点	村尾常任が日本JC総務委員長として出向され、担当の事業の中で、目標の参加人数を達成することができました。
事業目的に達しなかった点	LOMナイトの準備が不十分でした。

2. 近畿地区大会 葛城大会

事業内容	近畿地区大会 葛城大会への参加促進並びに出向者支援を通じて、過去から受け継がれてきたつながりを認識し、想い描いた理想を実現する関係性を構築するメンバーを増やします。
実施時期	7/14(土)
場所	モナミホール、當麻寺、香芝市中央公民館
参加人数報告	目標:350名 結果:256名
実施方法の工夫	ブース出展ではなく、広報誌「SENCIA」の配布や万博誘致署名活動を行いました。
事業目的に達した点	島田常任が副会長として出向されており、また多くの近畿地区協議会出向メンバーの支援を致しました。

3. サマーコンファレンス2018

事業内容	サマーコンファレンス2018への参加促進並びに出向者支援を通じて、過去から受け継がれてきたつながりを認識し、互いの強みの融合から革新を創造する気概を醸成するメンバーを増やします。
実施時期	7/19(木)~7/22(日)
場所	パシフィコ横浜・国立大ホール、ローズホテル横浜、東京ベイホテル東急など
参加人数報告	目標:450名 結果:400名
実施方法の工夫	様々なファンクションをメンバーの皆さまが参加しやすいよう準備、設営をさせて頂きました。
事業目的に達した点	次年度理事長の発表や出向者支援により、目標よりも多くの方に参加していただくことができました。

4. 大阪ブロック 松原大会

事業内容	大阪ブロック 松原大会への参加促進並びに出向者支援を通じて、過去から受け継がれてきたつながりを認識し、想い描いた理想を実現する関係性を構築するメンバーを増やします。
実施時期	9/23(日)
場所	松原市文化会館、松原中央公園
参加人数報告	目標:270名 結果:185名
実施方法の工夫	大阪のソウルフードであるたこ焼きのブースの出店を通じて、親交を深めてきた大阪ブロックの仲間たちと互いが持ち合わせる地域の強みを共有しました。
事業目的に達した点	阪倉局長、濱永委員長が出向されており、また多くの大阪ブロック協議会出向メンバーの支援を致しました。
事業目的に達しなかった点	当初の参加目標人数に対して、達成することができませんでした。

5. 全国大会 宮崎大会

事業内容	全国大会 宮崎大会への参加促進並びに出向者支援を通じて、想い描いた理想を実現する関係性を構築し、新たな時流を生み出す素直な心を日本中に拡げるメンバーを増やします。
実施時期	10/4(木)~7(日)
場所	宮崎県立芸術劇場、MRTミック ダイヤモンドホール、ホテルスカイタワー宮崎駅前
参加人数報告	目標:450名 結果:286名
実施方法の工夫	台風による会場の変更で、ファンクションに参加できないメンバーの皆さまに対して、LOMナイト会場を早く開場するよう対応しました。
事業目的に達した点	台風の中でもこれだけ多くのメンバーに参加していただき、出向者支援となりました。
事業目的に達しなかった点	台風の影響により予定通りに宮崎に入れないメンバーも多数出たことから当初の参加目標人数に対して、達成することができませんでした。

民間外交推進委員会

Private Diplomatic Promotion Committee

基本方針

素直な心で世界を熱狂させるメンバーを増やします。

事業計画

私たちは、受け継がれてきたつながりを理解し、未来を創造する使命感を醸成し、多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、人類に真の進歩と調和をもたらす気概を携え、世界を熱狂させるメンバーを増やします。

事業報告

1. シスターJCとの交流推進

事業内容	シスターJCとの交流推進並びに出向者支援を通じて、連絡と受け継がれてきたつながりを認識し、自ら未来を創造する使命感を抱き、国境を越えた同志の多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、広域な連携で人類に真の進歩と調和をもたらす気概を抱え、素直な心で世界を熱狂させるメンバーを増やします。
実施時期	通年
場所	—
参加人数報告	—
実施方法の工夫	継続している全てのシスターJCとコンタクトを取り続けました。
事業目的に達した点	JCIヴィクトリアの新年式典参加、JCI台北が来阪しての交流会を行うことができました。またJCIトームペア、JCIワガゴールデン、JCIエコーと新たにシスター締結を行いました。
事業目的に達しなかった点	実際に会うことができなかったシスターJCがありました。

2. ASPAC鹿児島大会

事業内容	ASPAC 鹿児島大会への参加促進並びに出向者支援を通じて、国境を越えた同志の多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、素直な心で世界を熱狂させるメンバーを増やします。
実施時期	5/24(木)~27(日)
場所	城山觀光ホテル、鹿児島アリーナ
参加人数報告	目標:400名 結果:340名
実施方法の工夫	LOMランチョンには、シスターJCだけでなく、多くの方に参加していただき、民間外交を行うことができました。
事業目的に達した点	多くのメンバーが参加することで、2018~2019APDCのJCI開発担当役員 保井美紀君、山本晃大君に対して、出向者支援を行うことができました。
事業目的に達しなかった点	当初の参加目標人数に対して、達成することができませんでした。

3. 世界会議ゴア大会

事業内容	世界会議 ゴア大会への参加促進並びに出向者支援を通じて、連絡と受け継がれてきたつながりを認識し、国境を越えた同志の多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、素直な心で世界を熱狂させるメンバーを増やします。
実施時期	10/30(火)~11/3(土)
場所	グランド・ハイヤット・ゴア、Dr Shyama Prasad Mukherjee Indoor Stadium, Bay15
参加人数報告	目標:100名 結果:70名
実施方法の工夫	民間外交新聞を発行し、参加されていないメンバーの皆さまにも理解していただき取り組みを行いました。
事業目的に達した点	各ファンクションでの各国のJCIメンバーが活動する中で、LOMランチョンやJAPANナイトに参加して、海外デリゲイツと交流し、友好関係を築けたことで、他国の人々に対する寛容性を育むことができました。
事業目的に達しなかった点	当初の参加目標人数に対して、達成することができませんでした。



国内連携推進委員会

Domestic Cooperation Promotion Committee



委員長

田中 克憲

KATSUNORI TANAKA

私たち、国内連携推進委員会は「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向かって未来のために新たな時流を生み出す素直な心を日本中に広げるメンバーを溢れさせる運動を展開して参りました。

新年は、京都会議からはじまり、204名の出向者の門出を祝うとともに、支援態勢の構築と出向メンバーが誰にも負けない努力で挑戦し続ける使命感を持ってもらいました。そして、友好LOMでもあります岡山青年会議所と金沢青年会議所との交歓会を開催しました。岡山青年会議所とは互いの都市の発展に向けて岡山の地で、今後も互いの地域の発展に向けて協力関係を構築し、金沢青年会議所とは大阪の地で、互いの地域の強みを共有し、社会に新たな可能性を生み出す可能性について侃々諤々の議論を行い、友好を深めることができました。

サマーコンファレンス in 横浜では、日本青年会議所の本年度の運動の中間地点として、出向者の活動をより深く知り学び合い、さらなる活躍につなげていくことのできる

関係を確立しました。さらに、全国大会 宮崎大会への参加では、卒業式典にて共に活動をしてきた仲間たちの卒業を祝い、また、出向者の集大成を最後まで支援し、さらなる目標を達成する意欲を向上させることができました。

私たち国内連携推進委員会は204名の出向者に最大の支援を行うことで、さまざまな場所で奮起する仲間たちが活躍し、日本、近畿地区、大阪ブロックに新たな時流を生み出す素直なメンバーを溢れさせることができたと確信しております。1年間、本当にありがとうございました。



民間外交推進委員会

Private Diplomatic Promotion Committee



委員長

出口 一馬

KAZUMA DEGUCHI

私たち、民間外交推進委員会は「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向かって未来のために連絡と受け継がれてきたつながりを認識し、自ら未来を創造する使命感をもち、国境を越えた同志の多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、広域な連携で人類に眞の進歩と調和をもたらす気概を携え、素直な心で世界を熱狂させるメンバーを溢れさせることを目的として活動して参りました。

新年は、ヴィクトリアJCの新年式典に参加することからはじまり、シスターJCとの交流をはかることができ、2月の金沢会議ではSDGsの理解を深めるとともにシスターJCを交えたLOMランチョンにて様々な意見交換をすることによって国際的なつながりに気付いてもらいました。

また、台北JCとの交流事業においてお互いの事業について話し合い、懇親をはかることで青年として果たすべき使命を理解してもらることができました。

次に、ASPAC鹿児島大会ではシスターJCを含む海外メンバーを招いたLOMランチョンを開催致しました。200名の大坂JCメンバーに参加してもらうことができ、海外からは台北JC、ヴィクトリアJC、ウランバートルJC、サボンリンナJC、JCIエストニア

ア、ラントオJCから計50名の海外メンバーに参加してもらうことができ、互いの歴史や文化から生まれる価値観の違いをありのまま受け入れるおおらかな寛容性を育んでもらいました。

さらに、世界会議ゴア大会では遠方にもかかわらず多数のメンバーに参加してもらうことができました。大阪JCとしては6年ぶりに新たにシスター締結をトームペアJC、エコJC、ワガゴールデンJCと計3つのLOMと結ぶことができました。また総会や各ファンクション、ジャパンナイト、GALAに参加することによって世界中のひとびとに豊かさをもたらす新しい価値の創造に挑戦する行動力を湧き立たせてもらうことができ、日本人のもつ素直な心で世界中のひとびとへ熱狂の連鎖を広げていく組織の中核となるメンバーを増やすことができました。

このようにして、私たち民間外交推進委員会は受け継がれてきたつながりを理解し、未来を創造する使命感を醸成し、多様な価値観を受け入れる寛容性を有し、人類に眞の進歩と調和をもたらす気概を携え、世界を熱狂させるメンバーを溢れさせ「BREAK THROUGH OSAKA」を実現することが出来ました。1年間、本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
田中 克憲	青山 快鳳	浅岡 保裕 皆光 燐
	小泉 和久	安藤 有希 上農 真
幹事	阪田 浩司	池上 恭介 川崎 雄也
有馬 大起	森田 俱亘	磯貝 克樹 岸 磨沙美
馬木 貴浩	山岸 将幸	一坂 正和 城戸 邦宏
小川 英俊		伊藤 健太郎 久保 雅史
櫻元 雄生		岩永 将至 久米 昂
中井 好斗		尾上 普美 米谷 素明
		岡田 芽具美 斎藤 勝
		奥田 知之 斎藤 秀樹
		斎藤 亮太 佐飛 真梨
		永本 宗秀 三宮 規尊
		白石 将太郎 林 耕造
		菅原 めぐみ 原 和也
		伊達 則幸 廣田 智哉
		田邊 武志 深井 光雄
		谷岡 遼 福井 絹莉子
		谷口 優亮 堀中 政則
		森村 洋右 森 優一
		前田 嘉博 矢野 淳大

STAFF

委員長	副委員長	委員
出口 一馬	上河 全巧	青山 欣誉 小寺 直志
	金 思冽	浅田 瑞衣 崎本 将光
幹事	本田 祐輔	池田 直人 高野 雅史
岡本 貴行	三木 章広	伊藤 圭亮 竹下 達也
坂元 靖昌	和倉 聰美	糸林 宏将 武田 泰治
関口 正輝		上西 孝法 多田 雄一
八木 孝紀		内海 陽一郎 玉木 智哲
山下 和政		大南 勝範 行方 正樹
		亀井 健司 原 英彰
		木村 敏治 東 和男

06.

総務広報室

共感デザイン委員会
総務財政特別委員会



共感デザイン委員会

Sympathy Design Committee

基本方針

共感の起点となって熱狂を挙げる人びとを増やします。

事業計画

私たちは、まちの成り立ちに関心を抱き、未来へのつながりを構築し、理想の実現に挑戦する使命感を有し、連携が生み出す新たな価値を挙げる行動力を携え、共感の起点となり熱狂を挙げる人びとを増やします。

事業報告

1. 対外向け広報の実施

事業内容	広報誌「SENCIA」の発行・ホームページ・SNS配信など対外向け広報の実施を通じて、未来への一步を踏み出すつながりを構築し、誰にも負けない努力で理想の実現に挑戦する使命感を有し、共感の起点となって熱狂を挙げる人びとを増やします。
実施時期	通年
場所	—
参加人数報告	—
実施方法の工夫	・すべての事業を広報誌「SENCIA」やSNSにて発信を行いました。 ・様々なカウンターパートと連動し、メディアに取り上げられる仕組みを構築しました。
事業目的に達した点	メディアに取り上げてもらう機会が増え、対外の方に幅広く共感してもらうことができました。
事業目的に達しなかった点	なし

2. 新年名刺交換会の企画と実施

事業内容	新年名刺交換会の企画と実施を通じて、まちの成り立ちに関心を抱く人びとを増やします。
実施時期	1/10(水)
場所	ヒルトンホテル大阪 桜の間
参加人数報告	目標：OB230名、メンバー550名 合計780名 結果：OB162名、外部関係者（来賓）1名、メンバー562名 合計725名
実施方法の工夫	・立地条件が良い会場を選定することで、参加しやすい環境を構築しました。 ・映像と生演奏で、リアルとバーチャルを融合し、今までになかった新しい新年名刺交換会を実施しました。
事業目的に達した点	2018年度最初の事業を行うにあたり、政策を発信することができました。
事業目的に達しなかった点	目標の参加人数に到達することができませんでした。

3. 第30回なにわ淀川花火大会の参画

事業内容	第30回なにわ淀川花火大会への参画を通じて、幅広い連携が生み出す新たな価値をまちに挙げる行動力を携えた人びとを増やします。
実施時期	8/4(土)、5(日)
場所	淀川堤防一帯
参加人数報告	目標：8/4(土) 当日ボランティア 一般250名・メンバー300名 合計：550名 8/5(日) 翌日清掃ボランティア 一般200名・メンバー200名 合計：400名 結果：8/4(土) 当日ボランティア 一般153名・メンバー428名 合計：581名 8/5(日) 翌日清掃ボランティア 一般450名・メンバー250名 合計：700名
実施方法の工夫	・広報誌「SENCIA」への協賛を募ることで、多くの方に共感していただき、ボランティア動員にもつながることができました。 ・対外3室の取組みを連動することで動員につなげることができました。
事業目的に達した点	多くのカウンターパートにご理解いただいたことで、取組みがABCキャストでの取材、放送にまでつなげることができました。
事業目的に達しなかった点	協賛金額という点では目標に達することができませんでした。

室テーマ

未来のために青年らしく熱狂しよう！



常任理事 総務広報室
室長 中川 雅照
MASATERU NAKAGAWA



常任理事 総務広報室
副室長 坂 昌樹
MASAKI SAKA

総務広報室では、「BREAK THROUGH OSAKA A」の実現に向けて、「未来のために青年らしく熱狂しよう！」をテーマに、社会の評価や時流を気にすることなく、青年らしい政策と大胆な行動力によって、まちに新たな時流を生み出す組織づくりのために、2つの委員会を運営してまいりました。

共感デザイン委員会では、これまで各自で発信された広報の仕組化を行うことで、年6回の広報誌「SENCIA」の発行を基軸として、ホームページ・Facebook・InstagramなどのSNSを活用した発信を実現したほか、カウンターパートと連携した広報セミナーや広報ミーティングを開催致しました。さらに、初めて対外の方をご招待した新年名刺交換会の開催や第30回記念大会となる「なにわ淀川花火大会」を担当し、共感の基点となって熱狂を挙げる人々を増やすことができました。

総務財政特別委員会では、メンバー一人ひとりが青年らしく熱狂できるよう、年初の方針をメンバーと共有する池

田会議開催や各種大会アワード・スタッフセミナー開催、総会・理事会をはじめとする諸会議の設営など、過去から受け継がれてきた不变の想いを次代に贈り継げるよう取り組んでまいりました。さらに、新たな挑戦として、事務局のシステム化を導入し、所属している全てのメンバーにとって活動しやすい仕組みの構築をすることができました。

68年続けてきたこの大阪青年会議所に受け継がれてきた創始の志を受け止め、理想の未来を想い描き、誰にも負けない努力で己を磨いたことにより、対内対外問わず幅広い連携が生まれ共感を拡げることで、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現への一助となつたと確信しております。1年間、誠にありがとうございました。

総務財政特別委員会

General Affairs Finance Special Committee

基本方針

まちの未来に向けて熱狂を挙げるメンバーをあふれさせます。

事業計画

私たちは、先人たちの想いを受け止め、めざす理想を多様性の中で共有する気概を抑え、青年らしい大胆な行動力を有し、幅広い連携を変革の力に昇華させ、まちの未来へ熱狂を挙げるメンバーをあふれさせます。

事業報告

1. 池田会議の企画と実施

事業内容	池田会議の企画と実施を通じて、幸福を願う青年らしい大胆な行動力を有するメンバーをあふれさせます。
実施時期	1/13(土)、14(日)
場所	不死王閣
参加人数報告	目標：588名、結果：524名
実施方法の工夫	大懇親会にて委員会ごとにアトラクションを行うことで、メンバー全員の一体感を感じる設営を行いました。
事業目的に達した点	メンバー一人ひとりが、1年間の活動方針を共有することができました。また、大懇親会では、各委員会で共通目標に向かい協力しあうことで、お互いに幸福を願う青年らしい大胆な行動力を有したメンバーをあふれさせることができました。
事業目的に達しなかった点	目標の参加人数を達成することができませんでした。

2. 褒章事業へのエントリー調整

事業内容	褒章事業へのエントリー調整を通じて、まちの未来に向けて熱狂を挙げるメンバーをあふれさせます。
実施時期	3/12(月)、6/13(水)、8/2(金)
場所	大阪青年会議所事務局
参加人数報告	—
実施方法の工夫	・日本JC褒章委員会と連動して説明会を3回実施しました。 ・受賞しているNOM、LOMの内容を確認して、作り方のポイントを共有しました。
事業目的に達した点	大阪ブロック協議会にて12エントリーに対し2つの事業が受賞を行いました。
事業目的に達しなかった点	ASPACEでは6エントリーに対し1ノミネート、全国大会では7エントリーに対し2ノミネート、世界会議では12エントリーに対し1ノミネートと、受賞することができませんでした。

3. 総会・理事会・財務規則審議会に関する準備と調整

事業内容	総会・理事会・財務規則審議会に関する準備と調整を通じて、新たな課題に取り組み続けた先人たちの想いを受け止め、めざすべき理想を多様性の中で共有する気概を抑え、幅広い連携を変革の力へと昇華させるメンバーをあふれさせます。
実施時期	通年
場所	不死王閣、リーガロイヤルホテル大阪、帝国ホテル大阪、大阪青年会議所事務局
参加人数報告	—
実施方法の工夫	1月度から公開理事会を実施することで、メンバーの皆さまに幅広く知っていただく機会としました。
事業目的に達した点	会議のスムーズな進行と侃々諤々の議論が行いやすい設営を実施しました。
事業目的に達しなかった点	総会の参加人数が少なく、最高意思決定機関ということを周知できませんでした。



共感デザイン委員会

Sympathy Design Committee



委員長

田中 昌浩

MASAHIRO TANAKA

私たち共感デザイン委員会は、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向け、共感の起点となり熱狂を拡げる人びとを増やす事を目的に1年間活動してまいりました。

本年度は、これまで引き継がれ各々で発信されていた広報手法についての仕組化を行い、より効果的な広報を行るためにカウンターパートと連携し、広報セミナーや広報ミーティングを開催させていただきました。これらの仕組みと連携により大阪JCが展開する事業を余すことなく発信しました。さらに事業構築をしているメンバーの姿や想いも発信することで、まちに住み暮らす人びとにも大阪JCの存在意義や目的についても共感を得ることが出来ました。

事業では、新たな取り組みとして、年初の新年名刺交換会に外部から来賓を迎え、会場も一新し、ヒルトン大阪でOB諸兄の皆様との絆を深めることができました。また、なにわ淀川花火大会では、ボランティアと共に運営するだけではなく、まちに住み暮らす人びとに広報誌「SENCIA」20,000部を配布し取り組みを拡げる事が出来ました。さらに、産経新聞・朝日放送などメディアにも取り組みを取り上げていただき

きました。BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPOでは、FM802などメディア関係のカウンターパートや協力企業と連携する事により、300サイト以上のポータルサイトへの掲載やメディアを通じての告知など新しい形の広報手法も取り入れ延べ14,000人の方々に来場していただく事が出来ました。

協賛や後援など様々な企業や団体と連携し、様々なメディアに取り上げられる事が出来たのも、メディアキャラバンなどの取り組みを通じ、当委員会が中核的役割を全う出来たからだと確信しています。

このようにして、私たちはまちの成り立ちに関心を抱き、未来へのつながりを構築し、理想の実現に挑戦する使命感を有し、連携が生み出す新たな価値を拡げる行動力を携え、共感の起点となり熱狂を拡げる人びとを増やし、「BREAK THROUGH OSAKA」を実現することが出来ました。

最後になりますが、共感デザイン委員会に賜りましたご支援・ご厚情に対し心より御礼申し上げます。1年間本当にありがとうございました！



総務財政特別委員会

General Affairs Finance Special Committee



特別委員長

坂 昌樹

MASAKI SAKA

私たち総務財政特別委員会は、「BREAK THROUGH OSAKA」の実現に向けて、大阪青年会議所のメンバー一人ひとりが青年らしく熱狂できるよう、メンバー相互の絆を深め、円滑な組織運営を可能とすべく、組織の下支えを実施して参りました。

予定者段階のスタッフセミナーでは、各委員会のコアとなるスタッフ間の絆構築に資するべく、年初に開催される池田会議、また3月の総会後懇親会(天満ジャック)では、各委員会のメンバー間、さらに委員会を越えたメンバー間の絆構築に資するべく、そして9月の「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」のお笑いLIVE、音楽LIVEでは、各メンバーが所属するこの組織への期待感を最大限に高めるべく、さらに各種大会アワードへのエントリー調整、アワードセミナーでは、組織が行ってきた活動を国内外のJAYCEEに発信し、組織への誇りにつなげるべく、すべての事業を、組織の下支えを旨として実施いたしました。

また、総会・理事会・常任理事会・財務規則審議会といった諸会議の設営・事前準備、理事選挙における投票準備、委員会間の情報共有のための委員長ミーティング開催、そして体制を一新した事務局における制度設計や機能の充実など、円滑な組織運営をめざした活動を、誇りをもって実施いたしました。

明るい豊かな社会の実現に向けて、大阪青年会議所が強固な絆と円滑な組織を備えた組織へと、新たなステージへ進む下支えができたことを、私たちは誇りに思っています。1年間、本当にありがとうございました。



STAFF

委員長	副委員長	委員
田中 昌浩	麻生 樹男	東 聰史
	川瀬 裕介	岡部 芳明
幹事	木戸地 陽平	渥美 宙
足利 幸治	竹中 秀夫	小國 博貴
中西 隆人	檜山 智志	池田 俊雄
山出 浩司		小田桐 健太郎
結城 賢作		石井 瑞穂
渡邊 みき		梶田 晋一郎
		今井 宏美
		加藤 香奈
		岩本 琢久造
		上田 泰志
		河合 瑛香
		上野 肇公
		北川 恭介
		生塩 和也
		吳本 勝隆
		大木 信吾
		齊藤 直敏
		岡部 芳明
		齊藤 寛樹
		東條 恭考
		阪元 亜里紗
		富坂 知
		阪本 晃行
		中塚 哲夫
		坂本 有美
		鍋谷 直輝
		松倉 匠
		西森 平
		笠田 真義
		野田 尚宏
		菅野 佐紀
		野田 尚宏
		堀川 泰弘
		松浦 拓也
		山本 守
		北條 明宏
		山崎 新平
		山口 達弘
		山崎 新平
		熊野 賢
		大西 潤
		佐伯 卓也
		竹川 哲司
		西岡 健介
		山本 毅
		川邊 寛治
		安里 信友
		小野 晋司
		佐伯 卓也
		谷井 正佳
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事
		中川 晋輔
		安東 裕明
		影山 裕一
		佐々 一樹
		仲 雅子
		野津 正守
		池田 保栄
		金谷 浩樹
		里内 博文
		中原 明日香
		宮沢 孝児
		石原 義明
		加納 慎也
		塩出 征史
		宮野 太津矢
		岩垣 大郎
		河北 浩晶
		茂見 尚希
		土山 貴浩
		山本 樹明
		川崎 勝洋
		四宮 圭
		圓藤 政臣
		木下 沙織
		高瀬 隆之
		大串 安弘
		國井 信男
		高橋 佳奈
		大谷 賢二
		久保 武範
		竹垣 敦啓
		西岡 健介
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事
		中川 晋輔
		安里 信友
		影山 裕一
		佐々 一樹
		仲 雅子
		野津 正守
		池田 保栄
		金谷 浩樹
		里内 博文
		中原 明日香
		宮沢 孝児
		石原 義明
		加納 慎也
		塩出 征史
		宮野 太津矢
		岩垣 大郎
		河北 浩晶
		茂見 尚希
		土山 貴浩
		山本 樹明
		川崎 勝洋
		四宮 圭
		圓藤 政臣
		木下 沙織
		高瀬 隆之
		大串 安弘
		國井 信男
		高橋 佳奈
		大谷 賢二
		久保 武範
		竹垣 敦啓
		西岡 健介
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事
		中川 晋輔
		安里 信友
		影山 裕一
		佐々 一樹
		仲 雅子
		野津 正守
		池田 保栄
		金谷 浩樹
		里内 博文
		中原 明日香
		宮沢 孝児
		石原 義明
		加納 慎也
		塩出 征史
		宮野 太津矢
		岩垣 大郎
		河北 浩晶
		茂見 尚希
		土山 貴浩
		山本 樹明
		川崎 勝洋
		四宮 圭
		圓藤 政臣
		木下 沙織
		高瀬 隆之
		大串 安弘
		國井 信男
		高橋 佳奈
		大谷 賢二
		久保 武範
		竹垣 敦啓
		西岡 健介
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事
		中川 晋輔
		安里 信友
		影山 裕一
		佐々 一樹
		仲 雅子
		野津 正守
		池田 保栄
		金谷 浩樹
		里内 博文
		中原 明日香
		宮沢 孝児
		石原 義明
		加納 慎也
		塩出 征史
		宮野 太津矢
		岩垣 大郎
		河北 浩晶
		茂見 尚希
		土山 貴浩
		山本 樹明
		川崎 勝洋
		四宮 圭
		圓藤 政臣
		木下 沙織
		高瀬 隆之
		大串 安弘
		國井 信男
		高橋 佳奈
		大谷 賢二
		久保 武範
		竹垣 敦啓
		西岡 健介
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事
		中川 晋輔
		安里 信友
		影山 裕一
		佐々 一樹
		仲 雅子
		野津 正守
		池田 保栄
		金谷 浩樹
		里内 博文
		中原 明日香
		宮沢 孝児
		石原 義明
		加納 慎也
		塩出 征史
		宮野 太津矢
		岩垣 大郎
		河北 浩晶
		茂見 尚希
		土山 貴浩
		山本 樹明
		川崎 勝洋
		四宮 圭
		圓藤 政臣
		木下 沙織
		高瀬 隆之
		大串 安弘
		國井 信男
		高橋 佳奈
		大谷 賢二
		久保 武範
		竹垣 敦啓
		西岡 健介
		西川 晃司
		横山 大典
		幹事

月例会

2018 | 1.13 SAT 15:00

1月度月例会



講師
藤井聰 氏、橋爪紳也 氏

場所
不死王閣

2018 | 6.19 TUE 19:00

BERAK THROUGH FORUM Vol.3 Society Night (6月度公開月例会)



講師
アライアンス・フォーラム財団
代表理事 原丈人 氏
ロート製薬株式会社
代表取締役 会長 兼 CEO 山田邦雄 氏

場所
帝国ホテル大阪

2018 | 2.21 WED 19:00

BERAK THROUGH FORUM Vol.1 EXPO Night (2月度公開月例会)



講師
NAKED 村松亮太郎 氏
日本万国博覧会誘致委員会 事務局
事務長 横 真夏氏

場所
帝国ホテル大阪

2018 | 7.27 FRI 19:00

BERAK THROUGH FORUM Vol.4 热狂夜 BREAK THROUGH Night (7月度公開月例会)



講師
ベリーグッドマン、こいや祭り、
FM802 DJ 野村雅夫 氏

場所
Zepp Namba

2018 | 3.19 MON 19:00

3月度月例会 MUSCLE Night



講師
魔裟斗 氏、ストラッサー起一 氏
新井敬子 氏、岸本泰昭 氏、RYO 氏

場所
帝国ホテル大阪

2018 | 9.21 FRI 18:00

9月度月例会 (本コーカスマーティング)



場所
帝国ホテル大阪

2018 | 4.25 WED 19:00

BERAK THROUGH FORUM Vol.2 ZEN Night (4月度公開月例会)



講師
松山大耕 氏

場所
帝国ホテル大阪

2018 | 10.11 THU 19:00

10月度月例会 ~各委員会の取組み発表~



場所
帝国ホテル大阪

2018 | 5.22 WED 19:00

北地域8LOM合同例会 大阪万博誘致と大阪の未来



講師
万博誘致推進室 室長 露口正夫 氏
関西経済研究センター長 石川智久 氏
公益社団法人関西経済同友会
万博推進室長 小林義彦 氏
内田裕子 氏

場所
箕面市立グリーンホール

2018 | 11.13 TUE 19:00

BERAK THROUGH FORUM Vol.5 SDGs Night SDGs から次のステージへ (11月度公開月例会)



講師
さかなクン

場所
帝国ホテル大阪

2018年褒賞



最優秀新人賞

山本 晃大
総務財政特別委員会



最優秀出向者賞

嵯峨根 照道
未来投資拡大委員会 委員
日本JC 総務委員会 総括幹事



最優秀会員賞

中川 雅照
常任理事



最優秀事業賞

大阪市長杯 第37回 わんぱく相撲
大阪市大会
未来投資拡大委員会



最優秀委員会賞

共感デザイン委員会



功労賞

戎 健太郎 監事
中川 雅照 常任理事
矢本 浩教 理事
出口 一馬 理事



JC運動推進賞

鈴木あかり 会員開発特別委員会 委員
山本 紗鈴 会員開発特別委員会 委員
山内 昌裕 会員資質向上委員会副委員長
山本 哲史 相互理解確立委員会副委員長



特別事業賞

経済成長戦略委員会



理事長特別賞

中西 隆人 共感デザイン委員会 総括幹事
森永 雄介 共感デザイン委員会 委員
川邊 寛治 総務財政特別委員会 副委員長



グランドスラム賞

小森 保人
会員開発特別委員会 委員
日本JC 公益資本主義推進委員会 副委員長



優秀事業賞

OSAKA BREAK THROUGH CAFE
市民輿論確立委員会
BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO
未来志向発信委員会



優秀委員会賞

民間外交推進委員会
総務財政特別委員会



優秀出向者賞

濱永 健太
経済成長戦略委員会/大阪B総務広報委員会 委員長
藤井 啓太
未来投資拡大委員会/日本JC全国大会運営会議 幹事
宝本 美穂
教育再生実行委員会/日本JC国際アカデミー 小幹事
森垣 慶一
民間外交推進委員会/日本JC JCI関係委員会 幹事
四宮 圭
総務財政特別委員会/日本JC人間力大賞委員会 副委員長



優秀会員賞

浦本 淳
未来志向発信委員会 委員
尾上 普美
国内連携推進委員会 委員
藤井 準
教育再生実行委員会 副委員長
北田 昇平
相互理解確立委員会 副委員長
山田 竜輔
民間外交推進委員会 委員
麻生 樹男
共感デザイン委員会 副委員長
閔谷 昌子
未来投資拡大委員会 委員
宮沢 孝児
総務財政特別委員会 副委員長



優秀新人賞

則武 直樹
市民輿論確立委員会 委員
柳 千景
未来投資拡大委員会
渡邊 智仁
教育再生実行委員会
前田 祐三
会員開発特別委員会
上田 哲也
会員資質向上委員会
木下 伸二
未来志向発信委員会
桜木 達也
経済成長戦略委員会
川崎 啓伍
相互理解確立委員会



BREAK THROUGH CHALLENGE!! 最優秀委員会賞

経済成長戦略委員会



BREAK THROUGH CHALLENGE!! 最優秀会員賞

山本 剛士 教育再生実行委員会

BREAK THROUGH OSAKA

広報誌 SENCIA

2018年度は、「BREAK THROUGH OSAKA ~ 270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ ~」の年間テーマの下、広報誌「SENCIA(センシア)」をメンバーへの配布という対内広報誌としての機能だけではなく、OB諸兄の皆様への配布・各所で行われた事業で市民の方々やカウンタパートの皆さまに配布を行うことで、大阪青年会議所の政策や活動内容を発信するツールにさせていただきました。

配布については年間配布計画を元に、約57,000部(Vol.1~Vol.6)を発刊・配布させていただきました。

また、企画についても大阪青年会議所主導で行い、活動報告だけではなく、注目を集めている有名人・著名人と竹田理事長に対談していただく「熱狂対談」や、連載として、万博誘致に向けた「EX



Vol.1

熱狂対談

大阪市長 吉村洋文 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP



Vol.2

熱狂対談

メディアアーティスト 落合陽一 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP



Vol.3

熱狂対談

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役 鳥井信吾 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆地球最後のフロンティア アフリカ訪問報告
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド



Vol.4

熱狂対談

落語家 桂文枝 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆熱狂対談2nd (株)ジングクエスト 高橋祥子 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助
- ◆夏の風物詩 花火大会特集(限定企画)
- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆OSAKA BREAK THROUGH CAFE
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド
- ◆世界のJCI大阪 民間外交見聞録



Vol.5

熱狂対談

アーティスト 清川あさみ ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆熱狂対談2nd 株式会社 アスロニア代表 白戸太郎 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助
- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆PCY2018 海外プログラム報告
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド
- ◆OSAKA BREAK THROUGH CAFE
- ◆2018年度 JCI世界会議ゴア大会 参加報告
- ◆第32回人間力大賞 受賞報告
- ◆2019年度 新入会員募集



Vol.6

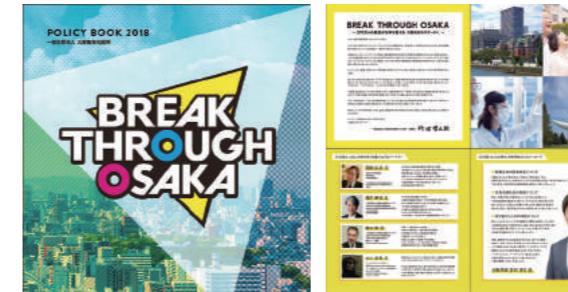
熱狂対談

株式会社 PHP研究所 佐藤悌二郎 ×
大阪青年会議所理事長 竹田哲之助

- ◆連載 EXPO2025!あの熱狂を再び大阪へ
- ◆BREAK THROUGH OSAKA NOW
- ◆コラム 素直な心になるために
- ◆コラム 社業発展につながる経済学
- ◆連載 世界を変える仕事のアイデア
- ◆BREAK THROUGH COMPANY
- ◆活動報告 TOYP2018実地報告
- ◆政治を動かし経済を変える～日本・世界を変える政策を紹介～
- ◆コラム たくましい KA-RA-DA メソッド
- ◆世界を熱狂させるRELATIONSHIP
- ◆OSAKA BREAK THROUGH CAFE
- ◆2018年度 JCI世界会議ゴア大会 参加報告
- ◆第32回人間力大賞 受賞報告
- ◆2019年度 新入会員募集

広報制作物媒体

ポリシーブック 2018



ポリシーブック 2018 レポート



BERAK THROUGH FORUM Vol.4



BERAK THROUGH COMPANY



BREAK THROUGH CAFE



Peace Conference of Youth 2018



大阪変革塾

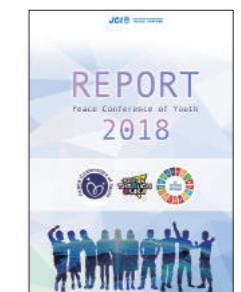
未来投資セミナー



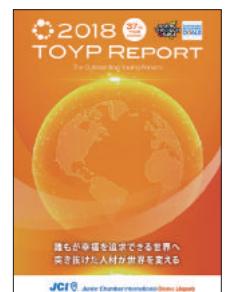
わんぱく相撲



PCY レポート



TOYP レポート



ULTRA Kids DANCE CONTEST



BREAK THROUGH THE BORDER



BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO(全体集約事業)



メディア掲載情報



理事長インタビュー
日刊ケイザイ（1916号・2018年1月22日）



BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO
(100万社のマーケティング)



wanpakuく相撲
関西テレビ（「報道ランナー」） 2018年5月9日 17:53～19:00

wanpakuく相撲
毎日放送（「情熱大陸」内） 2018年6月10日



なにわ淀川花火大会
朝日放送 キャスト-CAST-
(2018年8月14日 18:15～19:00)

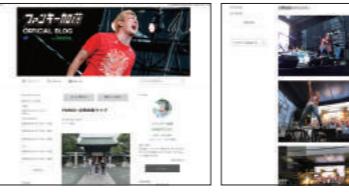


BREAK THROUGH OSAKA
2018 EXPO
JR_とんとんこんFB(2018年9月7日)

日付	ジャンル	媒体名	見出し
8月27日	リリースワイヤ	PR TIMES	
8月27日	情報サイト	日刊工業新聞 電子版	
8月27日	情報サイト	フレッシュアイ	
8月27日	情報サイト	Traicy(トライシー)	
8月27日	情報サイト	ORICON NEWS	
8月27日	情報サイト	ジョルダンニュース!	
8月27日	情報サイト	財経新聞	
8月27日	新聞社系サイト	読売新聞(YOMIURIONLINE)	
8月27日	情報サイト	現代ビジネス	
8月27日	情報サイト	マビオンニュース	
8月27日	情報サイト	おたくま経済新聞	
8月27日	情報サイト	産経ニュース	
8月27日	通信社サイト	時事ドットコム	
8月27日	ポータルサイト	BIGLOBEニュース	
8月27日	情報サイト	iza(イザ!)	
8月27日	情報サイト	RBBTODAY	
8月27日	情報サイト	STRAIGHT PRESS	
8月27日	情報サイト	BEST TIMES(ベストタイムズ)	
8月27日	情報サイト	NewsCafe	
8月27日	ポータルサイト	Infoseekニュース	大阪のマイを学ぶ・創る・体感するブレ万博「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」開催決定!「吉本新喜劇」が登場し、2025年大阪・関西方博にちなんだこの日限りの新ネタを披露!?
8月27日	ポータルサイト	エキサイトニュース	
8月27日	情報サイト	SEOTOOLS	
8月27日	情報サイト	STREET JACK	
8月27日	情報サイト	とれまがニュース	
8月27日	情報サイト	eltha(エルザ)	
8月27日	情報サイト	ウレびあ総研	
8月27日	情報サイト	OKWAVE Guide	
8月27日	情報サイト	暮らニスタ	
8月27日	情報サイト	PRESIDENT Online	
8月27日	情報サイト	CREA WEB	
8月27日	ポータルサイト	@niftyビジネス	
8月27日	情報サイト	ダイヤモンド・オンライン(Diamond Online)	「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」のFM802公開収録にてファンキー加藤のトーク&ライブ実施が決定!
8月27日	情報サイト	産経ニュース	
8月27日	通信社サイト	時事ドットコム	
8月27日	情報サイト	Cubeニュース	
8月27日	情報サイト	おたくま経済新聞	
8月27日	ポータルサイト	LINE NEWS(ラインニュース)	
8月27日	情報サイト	iza(イザ!)	
8月27日	情報サイト	現代ビジネス	
8月27日	情報サイト	東洋経済オンライン	
8月27日	情報サイト	RBBTODAY	
8月27日	情報サイト	SEOTOOLS	
8月27日	情報サイト	NewsCafe	
8月27日	情報サイト	JBpress(日本ビジネスプレス)	
8月27日	情報サイト	ダイヤモンド・オンライン(Diamond Online)	
8月27日	情報サイト	東洋経済オンライン	
8月27日	情報サイト	@DIME(アットダイム)	
8月27日	情報サイト	@niftyビジネス	
8月27日	ポータルサイト	LINE NEWS(ラインニュース)	
8月27日	情報サイト	Cubeニュース	
8月27日	情報サイト	30min. サンゼロミックス	
8月27日	情報サイト	ウレびあ総研	
8月27日	情報サイト	ニコニコニュース	
8月27日	新聞社系サイト	朝日新聞デジタル&M	
8月27日	情報サイト	ハピママ*	
8月27日	音楽系サイト	music.jp	「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」FM802公開収録でファンキー加藤のトーク&ライブ実施が決定!
8月28日	音楽系サイト	music.jp	吉本新喜劇を始め笑い飯・モンエン・スマラ夫人人気芸人が出演!「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」開催決定
8月29日	音楽系サイト	musicman-net	ファンキー加藤がFM802「FRIDAY Cruisin' Map!!」公開収録でトーク&ライブ、500組1000名を招待
8月29日	音楽系サイト	Billboard JAPAN	
8月29日	ポータルサイト	Yahoo!ニュース	
8月29日	ポータルサイト	livedoorニュース	
8月29日	ポータルサイト	Billboard JAPAN LINE NEWS	
8月29日	通信社サイト	エンタメovo	
8月29日	情報サイト	AERA dot.	
8月29日	情報サイト	めるも	
8月29日	情報サイト	ニコニコニュース	
8月29日	キュレーションサイト	antenna	
8月29日	リリースワイヤ	PR TIMES	
8月29日	情報サイト	フレッシュアイ	「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」のFM802公開収録にてファンキー加藤のトーク&ライブ実施が決定!
8月29日	新聞社系サイト	読売新聞(YOMIURIONLINE)	
8月29日	情報サイト	Traicy(トライシー)	
8月29日	情報サイト	財経新聞	

ファンキー加藤、9/9にFM802の公開収録にゲスト出演が決定

日付	ジャンル	媒体名	見出し
9月3日	情報サイト	ORICON NEWS	
9月3日	情報サイト	ショルダンニュース!	
9月3日	情報サイト	@DIME(アットダイム)	
9月3日	情報サイト	JBpress(日本ビジネスプレス)	
9月3日	情報サイト	マビオンニュース	
9月3日	情報サイト	PRESIDENT Online	
9月3日	ポータルサイト	Infoseekニュース	
9月3日	情報サイト	どれまがニュース	
9月3日	情報サイト	BEST TIMES(ベストタイムズ)	
9月3日	ポータルサイト	エキサイトニュース	
9月3日	情報サイト	暮らニスタ	
9月3日	情報サイト	eltha(エルザ)	
9月3日	情報サイト	OKWAVE Guide	
9月3日	情報サイト	STRAIGHT PRESS	
9月3日	情報サイト	日刊工業新聞 電子版	
9月3日	情報サイト	CREA WEB	
9月3日	ポータルサイト	@niftyビジネス	
9月3日	情報サイト	ダイヤモンド・オンライン(Diamond Online)	「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」のFM802公開収録にてファンキー加藤のトーク&ライブ実施が決定!
9月3日	情報サイト	産経ニュース	
9月3日	通信社サイト	時事ドットコム	
9月3日	情報サイト	Cubeニュース	
9月3日	情報サイト	おたくま経済新聞	
9月3日	ポータルサイト	LINE NEWS(ラインニュース)	
9月3日	情報サイト	iza(イザ!)	
9月3日	情報サイト	現代ビジネス	
9月3日	情報サイト	東洋経済オンライン	
9月3日	情報サイト	RBBTODAY	
9月3日	情報サイト	SEOTOOLS	
9月3日	情報サイト	NewsCafe	
9月3日	情報サイト	BARKS	
9月3日	情報サイト	30min. サンゼロミックス	
9月3日	情報サイト	ウレびあ総研	
9月3日	情報サイト	ニコニコニュース	
9月3日	新聞社系サイト	朝日新聞デジタル&M	
9月3日	情報サイト	ハピママ*	
9月3日	音楽系サイト	music.jp	「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」FM802公開収録でファンキー加藤のトーク&ライブ実施が決定!
9月10日	ラジオサイト	FM802(Twitter)	
9月10日	情報サイト	Lmaga.jp	
9月10日	ポータルサイト	Yahoo!ニュース	
9月10日	ポータルサイト	gooニュース	
9月10日	スポーツ紙サイト	デイリー	
9月10日	情報サイト	dimenuニュース	
9月12日	音楽系サイト	Billboard JAPAN	
9月12日	ポータルサイト	Yahoo!ニュース	強運ファンキー加藤「雨ごときには負けんな」
9月12日	ポータルサイト	livedoorニュース	
9月12日	ポータルサイト	Billboard JAPAN LINE NEWS	
9月12日	情報サイト	ニコニコニュース	
9月12日	情報サイト	AERA dot.	
9月12日	情報サイト	めるも	
9月12日	キュレーションサイト	antenna	
9月20日	情報サイト	AdverTimes	大阪青年会議所が「BREAK THROUGH OSAKA 2018 EXPO」を開催



ファンキー 加藤 ブログ
(2018年9月9日)

編集後記

2018年度、一般社団法人 大阪青年会議所は、竹田哲之助理事長の掲げる「BREAK THROUGH OSAKA ~ 270万人の熱狂が世界を変える 大阪を次のステージへ ~」をスローガンに掲げ、1年間を通じ様々な運動を開いたしました。

特に本年はSDGsの普及活動や万国博覧会誘致活動など、現在(いま)やるべきことを実行し、大阪を次のステージへと押し上げるに相応しい事業を数々実施いたしました。

私たちの団体の理念、活動の目的・内容・成果を一人でも多くの皆様にご理解をいただきたために、本書を編集させていただきました。

大阪青年会議所の活動にご共感いただき、今後ますます社会貢献活動の輪が広がれば幸いです。

最後に、多大なるご協力をいただきました大阪市をはじめとする行政機関、関係諸団体、メディア、企業、市民の全ての方々に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

総務広報室 共感デザイン委員会
委員長 田中 昌浩

企画・編集 総務広報室 共感デザイン委員会
発行 一般社団法人 大阪青年会議所
〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-30
オーク4番街401号室
TEL 06-6575-5161
FAX 06-6575-5163
<https://www.osaka-jc.or.jp>
発行日 2019年3月
制作 ato Design Office
印刷 株式会社 彩匠堂

ANNUAL REPORT 2018

JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL OSAKA



<http://www.osaka-jc.or.jp/>